



令和5年度

学校要覧

独立行政法人国立高等専門学校機構

和歌山工業高等専門学校

知能機械工学科

Department of
Intelligent Mechanical
Engineering

電気情報工学科

Department of
Electrical and
Computer Engineering

GUIDE BOOK 2023

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), WAKAYAMA COLLEGE

生物応用化学科

Department of
Applied Chemistry and
Biochemistry

環境都市工学科

Department of
Civil Engineering

CONTENTS

和歌山工業高等専門学校とは

校歌	1
沿革、校章、ロゴマーク、スクールカラー	2
校長あいさつ、高等専門学校とは	3
概要	4
3つのポリシー、和歌山高専の教育理念	5
組織等	6
学生、卒業・修了後の進路、就職・進学先	7
KOSEN TOPICS	8

学科紹介

総合教育科	9
学習の心得、カリキュラム、特色 Voice～在校生・教員の声～	
知能機械工学科	11
修得する能力、カリキュラム、特色 Voice～卒業生の声～	
電気情報工学科	13
修得する能力、カリキュラム、特色 Voice～卒業生の声～	
生物応用化学科	15
修得する能力、カリキュラム、特色 Voice～卒業生の声～	
環境都市工学科	17
修得する能力、カリキュラム、特色 Voice～卒業生の声～	

専攻科

メカトロニクス工学専攻	19
エコシステム工学専攻	
各専攻のカリキュラム・特色 Voice～修了生の声～	

学校生活

クラブ活動・学生会・国際交流	21
学生寮(柑紀寮)	22
研究活動・地域との連携	23
メディアセンター・ものづくりセンター	24
学年暦・学校行事	25

施設案内

校舎配置図	27
施設・支援	28

データ集

教員一覧	30
教育課程	31
学生の詳細情報	33
進路	35
外部資金等受入・協定等の締結	39
学生・教職員の主な受賞一覧	40
会計	41

校歌

作詞 四宮春行
作曲 片山 穎太郎

一、阿古根の浦の 碧き海

果てなく広き 汝が姿に
若人希望 いや遠く
学業修めむ ああ我が学園

二、煙樹ヶ浜の 翠り松

常磐渝らぬ 汝が姿に
若人誓願 いや固く
真理究めむ ああ我が学園

三、日高の川の 浄き水

流れて息まむ 汝が姿に
若人使命 いや重く
技術磨かむ ああ我が学園



沿革

1964(昭和39年) 4月1日	機械工学科、電気工学科及び工業化学科の3学科で発足(昭和39年法律第9号、入学定員各科40名、計120名)	1988(昭和63年) 3月10日	寄宿舎6号館 竣工
1965(昭和40年) 3月29日	本館(総合教育科・管理部)(旧:本館・一般教育科・管理棟)、寄宿舎1号館、寄宿舎食堂・浴室 竣工	1989(平成元年) 3月27日	プール附属屋 竣工
1965(昭和40年) 4月12日	御坊市名田町野島77番地に本校舎を移転	1993(平成5年) 4月1日	工業化学科を物質工学科に改組(入学定員40名)
1966(昭和41年) 3月20日	寄宿舎4号館 竣工	1994(平成6年) 4月1日	土木工学科を環境都市工学科に改組(入学定員40名)
1966(昭和41年) 3月30日	本館(知能機械工学科)(旧:本館・機械工学科棟)、本館(生物応用化学科)(旧:本館・工業化学科棟)、ものづくりセンター(旧:実習工場)、第1体育館 竣工	1994(平成6年) 12月20日	地域共同テクノセンター(旧:総合技術教育研究センター) 竣工
1966(昭和41年) 12月1日	本館(電気情報工学科)(旧:本館・電気工学科棟)、寄宿舎5号館 竣工	1995(平成7年) 4月1日	総合技術教育研究センターを設置
1967(昭和42年) 3月25日	課外活動施設(旧:合宿施設) 竣工	2002(平成14年) 4月1日	専攻科(メカトロニクス工学専攻、エコシステム工学専攻)を設置(各定員8名、修業年限2年)
1968(昭和43年) 3月22日	寄宿舎2号館、寄宿舎7号館(旧:寄宿舎管理棟・女子寮) 竣工	2003(平成15年) 4月1日	総合技術教育研究センターを地域共同テクノセンターに改称
1969(昭和44年) 3月26日	武道場 竣工	2004(平成16年) 2月27日	専攻科棟 竣工
1969(昭和44年) 4月1日	土木工学科を設置(入学定員40名)	2004(平成16年) 4月1日	独立行政法人国立高等専門学校機構が設立同機構が設置する国立高等専門学校に移行電気工学科を電気情報工学科に改組(入学定員40名)
1970(昭和45年) 3月23日	環境都市工学科棟(旧:土木工学科)、寄宿舎3号館 竣工	2008(平成20年) 5月19日	ロボット教育センター 設置
1972(昭和47年) 12月2日	メディアセンター(旧:図書館)竣工	2009(平成21年) 4月1日	機械工学科を知能機械工学科に改組(入学定員40名)
1975(昭和50年) 3月28日	情報処理教育センター 竣工	2014(平成26年) 7月3日	寄宿舎8号館 竣工
1980(昭和55年) 3月29日	第2体育館 竣工	2017(平成29年) 4月1日	物質工学科を生物応用化学科に改組(入学定員40名)
1982(昭和57年) 3月25日	普通教室棟、弓道場 竣工	2021(令和3年) 6月28日	寄宿舎7号館 竣工
1983(昭和58年) 3月14日	福利センター・国際交流会館(旧:福利センター) 竣工	2022(令和4年) 7月28日	寄宿舎5号館(食堂・浴室) 竣工

校章



本校の校章は、和歌山の“W”と“山”の2字を併せて型取った台の上に、“高専”の2字を乗せ、それを左右から和歌山が名産地である蜜柑の木の若枝で抱きかかえたデザインです。また、その背景には本校のスクールカラーである紺碧色を配色しています。

スクールカラー

DIC-N888
系統色名 こい青

本校のスクールカラーは「紺碧(こい青)」(DIC-N888)です。この色は、深みのある濃い青色で本校からのぞむ太平洋の海の色を表現するとともに日本の伝統色となっています。

ロゴマーク



本校のロゴマークは、平成28年に公募し、知能機械工学科学生(平成28年度本校入学)のデザイン案を採用しました。

ロゴマークにこめられた思いについて

●未来へ羽ばたく「蝶」

この高専を卒業した学生は、「蝶」のように社会という大きな空に飛び立ち、たくさんの人々に笑顔を与えます。

●工業高専のイメージでもある「三角定規」

高専の全学科共通のイメージとなるツールとして「三角定規」に着目しました。「三角定規」をデザインすることにより「工業高専」である本校の特徴をスマートに伝えようと思いました。

●東にそびえる「山」、西に広がる「海」

周りが自然で満ちあふれている素晴らしい環境の本校「山」にも「海」にも恵まれている様子を、それぞれ緑と青というカラーリングで表しました。

●WAKAYAMAの「W」

和歌山高専の英語表記の頭文字としての「W」のイメージを、ロゴマークの形状で表現することにより、他の高専との差別化、区別化を明確にしました。「W」といえば和歌専だなどすぐに分かってもらえる狙いがあります。

また、校章にも“W”の文字が使われており、連動する意味も持たせます。

校長あいさつ



校長
井上 示恩

和歌山工業高等専門学校は、1964年(東海道新幹線開業、東京オリンピック開催)に和歌山県の中南部にある御坊市に設立され、令和6年に創設60周年を迎える歴史ある工学技術者(エンジニア)の育成校で、大学等と同様の高等教育機関です。これまでに約8,000人の卒業生、修了生が産業を支える技術者として採用され、高い評価を得ています。多くの先輩方が企業・研究所や官公庁で中心的な存在として活躍しており、グローバル化の進展に伴い海外で活躍する卒業生も出てきています。和歌山高専は、全国の産業界の期待を反映した高い求人倍率のもと、就職希望者のほぼ全員が就職し活躍しています。さらに、工学の技術を更に深めるために大学や専攻科へ進学できる道も開いており、毎年、多くの学生が大学等に進学しています。

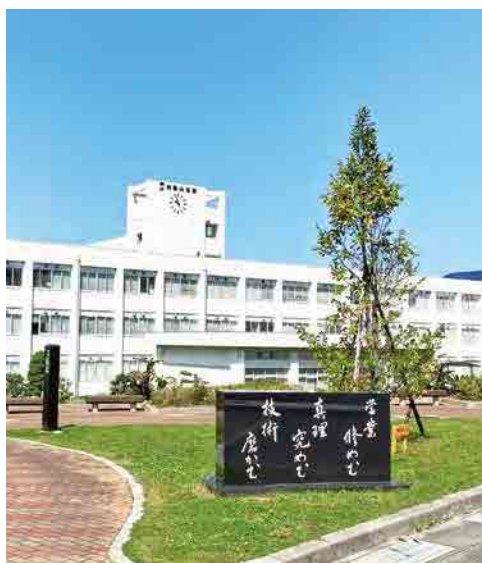
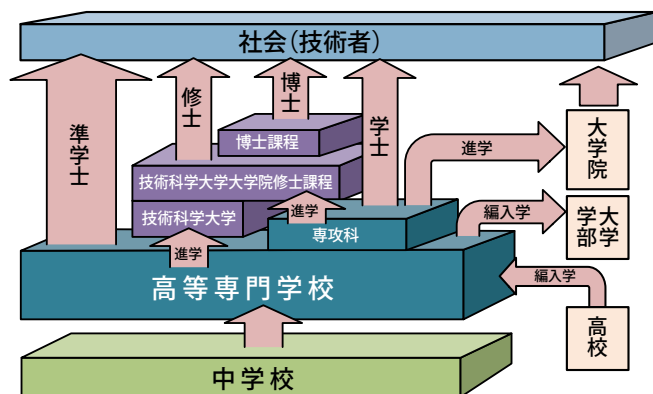
これは、理工系に興味がある中学校の卒業生を対象とした5年間の一貫教育と早期の専門教育により優れた技術者を社会に輩出し、また、大学等での専門的な学術研究につながる基盤的な素養を培うことに主眼を置いた日本独自の高専教育システムに基づいています。本校は国立高等専門学校機構に属しており、その本部から「ものづくり教育」という観点で高い評価を受けています。実際の製品開発や生産現場での経験豊富な教員も多く、多様かつ優れた教育研究力を有する教員により実践的な技術教育が行われていることがその大きな理由です。テレビで放映される全国高専ロボットコンテストの常連校であるだけでなく、次世代を担う子供たち(小中学生)にロボットを通してものづくりの楽しさを伝える「きのくにロボットフェスティバル」の開催にも、中心的な役割を果たしております。また、和歌山県中南部地域で唯一の国立の高等教育機関であることから、地域に貢献する高専として産官学技術交流会を立ち上げ、技術相談や共同研究を活発に行い、地域の期待に応える活動を長年推進してきました。この経験が技術者教育に生かされ、本校が目指す人材育成に強く貢献しています。本校には、留学生や女子学生が生き生きと勉学できる環境も整えられています。グローバル化や男女共同参画に対応した環境の整備を、今後も強力に推進していきたいと考えています。

最後に、保護者の方々や後援会、同窓会、関係者の皆様の日頃からのご理解・ご支援に心から感謝申し上げますとともに、今後も引き続き、本校の発展により一層ご支援くださいますようお願い申し上げます。

高等専門学校とは

5年間の一貫教育により、 すぐれた技術者を育成

高等専門学校は、「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する」ことを目的として設置された、中学校卒業程度を入学資格とする高等教育機関です。豊かな教養と専門の工学とを身につけた技術者の育成を使命として、中学校卒業段階という早期からの5年一貫の体験重視型の専門教育を特色とし、応用力に富んだ実践的・創造的技術者の育成を行います。



和歌山高専の特色ある教育

技術者教育は、「ものづくりの教育」です。技術者は基本的な原理や理論を理解するとともに、実際に手を動かしたり、触れたりする体験によりスキルを身につけることも必要です。本校では、実験・実習を重視したカリキュラムによりものづくりに必要なセンスを養います。本校が展開する技術者教育の特色は次の通りです。

- 実験実習の重視
- 基礎教育と専門科目の連携
- インターンシップによる職業体験
- 国際性を備えた人間性豊かなエンジニアの育成
- 大規模寮を利用した全人教育

海外との交流

「国際性を備えた人材の育成」を図る施策の一つとして、上海電機学院（中華人民共和国）との交流を行っています。2002年に交流協定を締結、2004年より学生交流が始まり、年1回、10数名の学生が、約2週間の相互訪問を行っています。2011年3月にこれまでの協定を発展させ、相互の学校において正規課程修了のための修学が可能となる新たな協定を締結し、本格的な相互留学ができるようになりました。また、国際的に開かれた学園を目指すために、2010年春には国際交流会館を設置しました。さらに、2016年8月にアトマジャヤ大学（インドネシア共和国）、2016年9月にはスラバヤ工科大学（インドネシア共和国）、2017年9月にはボゴール農科大学（インドネシア共和国）と学術交流協定を締結しました。



上海電機学院の短期留学生と本校学生の交流(京都)

グローバル化に対応する学生の留学支援では、文部科学省と(独)日本学生支援機構が実施している「官民協働海外留学支援制度～トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム～」を利用して毎年数名の学生が短期留学をしています。また、2023年5月現在、4ヶ国10名の留学生在籍し、日本人学生とともに卒業をめざして学んでいます。

大学等との交流(推薦入試制度等)

専攻科には、早稲田大学大学院情報生産システム研究科、北陸先端科学技術大学院大学等への大学院推薦入試制度があります。また、2006年3月に大阪大学工学部／大学院工学研究科と、2007年10月に大阪大学基礎工学部／大学院基礎工学研究科と、2007年3月に京都大学工学部・大学院工学研究科と教育研究交流協定を結び、2015年3月には和歌山大学システム工学部と編入学学生のための単位互換に関する協定を結び、大学との緊密な交流を推進しています。

さらに、2007年11月には和歌山県教育委員会と連携協力包括協定を結び、県内の工業教育の充実を、2018年3月には鳥羽商船高専と包括連携協定を結び、防災に関する相互協力や特に海洋面での教育及び学術研究交流を推進しています。

地域への貢献

和歌山県中南部地域で唯一の高等教育機関として地域の発展に貢献しています。御坊地域において和歌山高専産官学技術交流会への参加・支援を行っています。また、紀陽銀行との包括協定により、学生と県内企業との交流の機会を提供するために「産業勉強会」を開催しています。

さらに、地域の自治体との包括連携協定を締結するなど、地域に根差した高専として、防災をはじめとして様々な分野で協働により取り組んでいます。その他、「なるほど!科学体験フェア」をはじめ小中学生向けの数多くの公開講座、出前授業などを学生の協力を得て開催するとともに「きのくにロボットフェスティバル」の実行委員会のメンバーとして毎年開催に協力しています。



なるほど!科学体験フェア2022(和歌山城ホール)



有田市教育委員会と和歌山工業高等専門学校との連携協定

3つのポリシー

○3つのポリシー

本科ディプロマ・ポリシー(卒業認定に関する方針)

「教育理念」に基づく5年間の一貫教育を通じて、エンジニアに必要な一般教養と専門知識・技能を身につけ、工学的技術への興味・関心や豊かな人間性・国際性を育むことにより、工学分野に関わる課題を、環境との調和に配慮しながら創造的に解決できる能力を備えた学生に対して卒業を認定します。

本科カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

上記ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するため、全国高専共通のモデルコアカリキュラム(MCC)をベースに一般科目、専門科目を体系的に編成した講義のほか、実践的科目の演習、実験、実習等を有機的に関連させた特色のある授業科目、キャリアデザイン系科目を開設します。各学科とも、授業科目に係る単位修得の認定は主に定期試験によるものとしますが、科目等によっては、レポート等の評価結果により認定します。なお、授業科目の成績評価は100点満点及び可否で行い、合・優・良・可を合格、否・不可を不合格とし、合格の場合は単位を認定します。

本科アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

講義のほかに実験・実習に重点をおいた教育を行い、高度な知識と技術を身につけ、新しい時代に対応した創造力に富み、人間性豊かで、国際社会にも貢献できるエンジニア育成のための教育・指導を行っています。

この理念のもと、次のような適性と能力を持った人を、学校長推薦入試においては調査書、面接、小論文、推薦書、志望理由書及び活動報告書、体験実習入試においては調査書、体験実習、面接、志望理由書及び活動報告書、学力検査入試においては学力検査及び調査書、帰国生徒特別選抜入試においては学力検査及び面接、調査書により確認し、受け入れます。

- ・基礎学力に基づき、自らの考えを文書や口頭で説明・理解させることができる人
- ・科学技術に興味を持ち、志望する学科の専門知識と技術を修得したい人
- ・自ら積極的に行動し、充実した高専生活を送りたい人
- ・将来、修得した専門知識や技術を活かした仕事に就きたい人

本科(編入学)アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

講義のほかに実験・実習に重点をおいた教育を行い、高度な知識と技術を身につけ、新しい時代に対応した創造力に富み、人間性豊かで、国際社会にも貢献できるエンジニア育成のための教育・指導を行っています。

この理念のもと、次のような適性と能力を持った人を、調査書、面接、志望理由書、推薦書により確認し、受け入れます。

- ・基礎学力に基づき、自らの考えを文書や口頭で説明・理解させることができる人
- ・科学技術に興味を持ち、志望する学科の専門知識と技術を修得したい人
- ・自ら積極的に行動し、充実した高専生活を送りたい人
- ・将来、修得した専門知識や技術を活かした仕事に就きたい人

専攻科ディプロマ・ポリシー(修了認定に関する方針)

「教育理念」に基づき、工学を社会の繁栄と環境との調和に生かすための創造力と課題を解決するデザイン能力を身につけ、地域社会の特色を生かしつつ、地球環境に配慮した新技術の開発に貢献することにより、新たな課題に挑戦する豊かな人間性と国際性を備えた学生に対して修了を認定します。

専攻科カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

上記ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するため、(1)一般科目、(2)専門科目を体系的に編成した講義のほか、(3)実践的科目の演習・実験・実習等を有機的に関連させた特色のある授業科目を開設します。また、各専攻とも、授業科目に係る単位修得の認定は主に定期試験によるものとしますが、科目等によっては、レポート等の評価結果により認定します。なお、授業科目の成績評価は100点満点で行い、A・B・Cを合格とし、合格の場合は単位を認定します。

専攻科アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

専攻科(メカトロニクス工学専攻・エコシステム工学専攻)では、次のような適性と能力を持った人を、推薦による選抜においては調査書、志望理由書、推薦書及び該当者のみ面接、学力による選抜においては学力検査、TOEICスコア報告書、調査書、志望理由書、該当者のみ面接、社会人特別選抜においては成績証明書及び志望理由書、面接により確認し、受け入れます。

- ・幅広い専門性や論理性を身に付けた技術者として、持続可能な社会の形成に貢献したい人
- ・自主的・継続的に学習や研究に取り組み、自己の向上を目指したい人
- ・技術者教育を受けるために必要な専門基礎や英語などについての基礎能力を持っている人
- ・企業において、技術者としての基礎能力を有し、更に自己の能力を伸ばしたいと考える人

和歌山高専の教育理念

本校は、5年間の一貫教育を通じて、エンジニアとしての素養を身につける基礎教育と、実践を重視した専門教育を効果的に行うことにより、工学を社会の繁栄と環境との調和に生かすための創造力と問題解決能力を身につけ、豊かな人間性と国際性を備えた人材の育成を目指します。

とりわけ自然環境に恵まれた和歌山県中南部に位置する本校は、地域社会の特色を生かしつつ、地球環境に配慮した新技術の開発に貢献することにより、新たな課題に挑戦します。

こうした環境と地域連携を考慮した教育・研究活動が、国際社会へもアピールできるよう努力を重ねます。

組織等

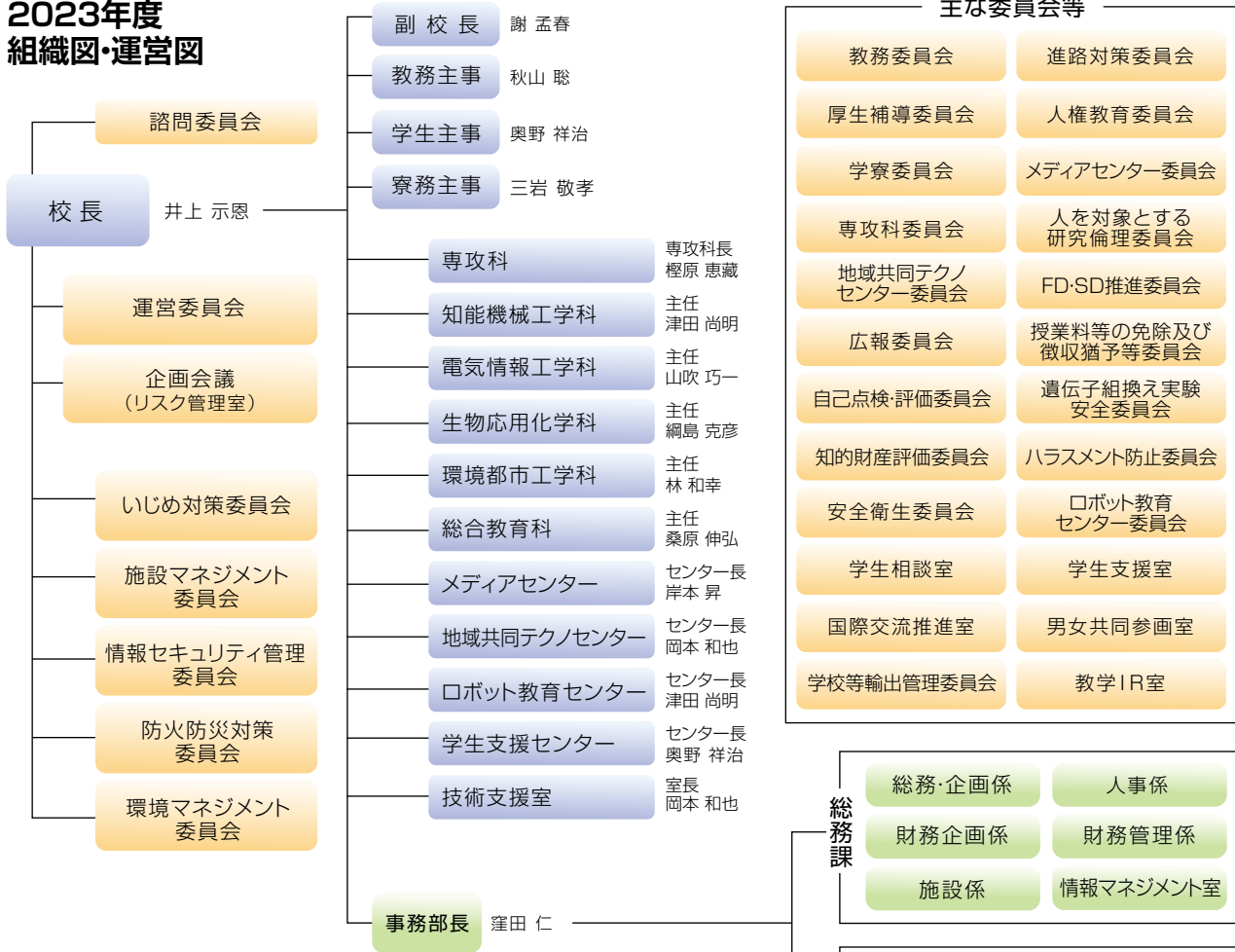
歴代校長

	氏名等
初代	澤井 八洲男
2代	工学博士 近藤 繁人
3代	工学博士 市原 松平
4代	工学博士 阿河 利男
5代	工学博士 岡本 平
6代	理学博士 興地 斐男
7代	山本 博
8代	葦澤 弘志
9代	堀江 振一郎
10代	理学博士 角田 範義
11代	北風 幸一
12代	井上 示恩

名誉教授

氏名等	工学博士	佐々木 清一	博士(英語学)	森川 寿
玉置 邦太郎	工学博士	高木 浩一	工学博士	溝川 辰巳
工学博士 岡本 平		富上 健次郎		堀江 振一郎
山岸 昭英	工学博士	小川 一志	博士(工学)	西本 圭吾
博士(工学) 宮原 一典		葦澤 弘志	博士(工学)	中本 純次
工学博士 橋口 清人	工学博士	藤原 昭文	博士(工学)	林 純二郎
吉川 壽洋	博士(工学)	坂田 光雄		後藤 多栄子
原 敏晴		渡邊 仁志夫	理学博士	角田 範義
田縁 正幸	博士(工学)	久保井 利達	博士(工学)	山口 利幸
博士(工学) 谷口 邁	博士(工学)	福田 匡	博士(工学)	野村 英作
溝口 幸美	博士(工学)	徳田 将敏	博士(工学)	霧巻 峰夫
西芝 茂樹	工学博士	藤本 晶	博士(工学)	北澤 雅之
博士(工学) 猪飼 健夫	医学博士	山川 文徳	博士(工学)	米光 裕
尼田 正男	工学博士	大久保 俊治		北風 幸一

2023年度 組織図・運営図



教員の年齢構成・男女別構成

2023年5月1日現在

		知能機械工学科	電気情報工学科	生物応用化学科	環境都市工学科	総合教育科	計
年齢別	60歳以上63歳以下	1	2	1	1	4	9
	55歳以上60歳未満	1	1	1	0	3	6
	50歳以上55歳未満	0	2	3	2	3	10
	45歳以上50歳未満	3	0	3	2	0	8
	40歳以上45歳未満	0	1	1	2	4	8
	35歳以上40歳未満	1	2	1	2	3	9
	30歳以上35歳未満	2	0	0	1	2	5
30歳未満	0	0	0	0	0	0	
男女別	計	7	7	9	10	17	50
	男	7	7	9	10	17	50
	女	1	1	1	0	2	5

(年齢は年度末年齢)

教職員数

2023年5月1日現在

区分	校長	教授	准教授	講師	助教	教員計	常勤職員	教職員計
現員	1	26	16	6	7	56	(1)	(1)
実行人員枠	1	26	16	6	10	59	41	100

※教員のうち47人が博士号取得
※()は常勤的非常勤職員で外数

学 生

令和5年5月1日現在()内は女子数

各学科定員及び現員

学科名	学年定員	1年	2年	3年	4年	5年	現員合計
知能機械工学科	40	41(5)	39(5)	40(3)	42(5)	39(5)	201(23)
電気情報工学科	40	41(8)	41(3)	46(6)	44(8)	38(4)	210(29)
生物応用化学科	40	41(20)	40(17)	42(19)	37(17)	37(13)	197(86)
環境都市工学科	40	41(14)	38(9)	43(10)	41(10)	41(8)	204(51)
計	160	164(47)	158(34)	171(38)	164(40)	155(30)	812(189)

専攻科定員及び現員

専攻	学年定員	1年	2年	現員合計
メカトロニクス工学専攻	8	11(2)	13(1)	24(3)
エコシステム工学専攻	8	10(5)	16(6)	26(11)
計	16	21(7)	29(7)	50(14)

卒業・修了後の進路 大学等への進学49名!大学院入学7名!

令和5年5月1日現在

項目 学科	卒業者数			就 職						進学者数			その他 (自営を含む)		
				就職希望者数			就職者数								
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
知能機械工学科	42	35	7	29	25	4	29	25	4	10	7	3	3	3	0
電気情報工学科	43	39	4	29	26	3	29	26	3	11	10	1	3	3	0
生物応用化学科	40	23	17	23	13	10	23	13	10	16	9	7	1	1	0
環境都市工学科	37	30	7	24	17	7	24	17	7	12	12	0	1	1	0
計	162	127	35	105	81	24	105	81	24	49	38	11	8	8	0

※1 休学者は含まない

※2 大学1年次・専門学校等入学はその他に含む

項目 専攻	修了者数			就 職						進学者数			その他 (自営を含む)		
				就職希望者数			就職者数								
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
メカトロニクス工学専攻	18	17	1	16	15	1	16	15	1	2	2	0	0	0	0
エコシステム工学専攻	15	9	6	10	5	5	10	5	5	5	4	1	0	0	0
計	33	26	7	26	20	6	26	20	6	7	6	1	0	0	0

令和4年度本科就職先

企業

(株)アイ・エス・ピー、アイバル真空、旭化成(株)、旭化成メディカル(株)、(株)網屋、出光興産(株)、エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)、エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)、(株)NTTデータMSE、大阪ガス(株)、大阪油化工業(株)、花王(株)、(株)カネカ、関西エアポートテクニカルサービス(株)、関西電力(株)、紀州ファスナー工業(株)、キャノンアネルバ(株)、キャノンメディカルシステムズ(株)、京セラ(株)、キリンビール(株)、近畿日本鉄道(株)、(株)クボタ、クラシエ製薬(株)、小西化学工業(株)、(株)駒井ハルテック、(株)小松製作所、五洋建設(株)、サントリースピリッツ(株)、サントリープロダクツ(株)、JX金属(株)、ショーボンド建設(株)、スズキ(株)、(株)SUBARU、スマートホールディングス(株)、住友化学(株)、全星薬品工業(株)、ソフトバンク(株)、大栄環境(株)、Daigasエナジー(株)、(株)大気社、ダイキン工業(株)、太平洋工業(株)、田岡化学工業(株)、匠技研(株)、東海旅客鉄道(株)、東京電力ホールディングス(株)、東レ(株)、(株)ドコモCS関西、凸版印刷(株)、(株)長尾製缶所、西日本高速道路(株)、西日本電信電話(株)、西日本旅客鉄道(株)、日東電工(株)、パナソニックインダストリー(株)、パナソニックエナジー(株)、パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション(株)、パナソニックコネクタ(株)、浜松ホトニクス(株)、阪神高速技術(株)、阪神高速道路(株)、不二製油(株)、藤本化学製品(株)、ホソカワミクロン(株)、三井化学(株)、三井不動産(株)、三菱地所プロパティマネジメント(株)、三菱電機システムサービス(株)、武蔵エンジニアリング(株)、(株)明治、(株)メイテックフィルダーズ、(株)メンバーズ、(株)モビテック、森永乳業(株)、(株)八雲ソフトウェア、(株)ヤクルト本社、雪印メグミルク(株)、リコージャパン(株)、(株)Link-U、(株)レゾナック、レンゴー(株)、ワム・システム・デザイン(株) (五十音順)

官公庁等

国土交通省、和歌山県、紀の川市、海南市、御坊市、(一社)近畿建設協会

令和4年度本科進学先

和歌山高専専攻科、北海道大学、弘前大学、埼玉大学、横浜国立大学、長岡技術科学大学、金沢大学、岐阜大学、豊橋技術科学大学、京都工芸繊維大学、和歌山大学、徳島大学、高知大学、九州大学、大阪公立大学、大阪工業大学

令和4年度専攻科就職先

企業

旭化成(株)、(株)朝日工業社、アマゾンジャパン(同)、大阪ガス(株)、花王(株)、(株)カネカ、関西電力(株)、(株)サイマックス関西、沢井製薬(株)、(株)CTIウイング、スガイ化学工業(株)、住友電気工業(株)、DIC(株)、日東電工(株)、パナソニックインダストリー(株)、ファナック(株)、マルホ(株)、三菱ケミカルエンジニアリング(株)、三菱地所プロパティマネジメント(株)、三菱電機エンジニアリング(株)、リコージャパン(株)、(株)Link-U、(株)Relic (五十音順)

官公庁等

和歌山県、東大阪市

令和4年度専攻科進学先

筑波大学大学院、京都工芸繊維大学大学院、大阪大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、九州大学大学院

学生の活躍

研究発表、コンテストへの参加、クラブなどの活動に多くの成果をあげています。2022年度における主な活躍は下記のとおりです。



第1回高専防災減災コンテストで最優秀賞を受賞

2023年3月に東京都の東京国際フォーラムで開催された第1回高専防災減災コンテスト(国立高等専門学校機構、防災科学技術研究所、国際科学振興財団主催)で、環境都市工学科5年生の田中勇摩さんと山添成毅さんが最優秀賞(文部科学大臣賞)を受賞しました。AR(拡張現実)の技術で、地形に見立てた砂場に色や等高線で高さを表せる「防災学習砂場の開発」が評価されました。



第57回全国高専体育大会柔道競技で大活躍

2022年8月に香川県の高松市総合体育館で開催された第57回全国高等専門学校体育大会柔道競技で、団体戦では3位入賞、女子57kg級で生物応用化学科2年生の森聖愛選手が優勝(2連覇)、女子63kg級で環境都市工学科4年生の河邊咲葵選手が準優勝、女子52kg級で環境都市工学科1年生の上野日葵選手が第3位、男子73kg級で知能機械工学科3年生の井口陽登選手が第3位、男子66kg級で生物応用化学科3年生の小敷奏大選手が第3位に入賞しました。



日本高専学会2022年度研究奨励賞(最優秀賞)を受賞

専攻科エコシステム工学専攻2年生の東さくらさんは、日本高専学会より2022年度研究奨励賞の最優秀賞を受賞しました。この賞は、全国の高専専攻科生を対象に特に優れた研究活動を行ったと認められる学生に授与されるもので、東さんの専攻科での研究成果は全国の専攻科生の中でも特に高く評価されました。研究内容は、ホスホニウム塩という新しい化合物を用いた蓄熱材料を提案するもので、省エネ型の空調システムや冷蔵庫等に用いることができる画期的なものです。



第35回アイデア対決・全国高専ロボコン2022で技術賞を受賞

2022年11月に東京都の両国国技館で開催された第35回アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2022に出場し、ベスト4に入り技術賞を受賞しました。今大会は、「ミラクル☆フライ～空へ舞いあがれ!～」と題して、自作したロボットで紙飛行機を飛ばし、指定された台に乗せたり筒に入れたりして点数を競う競技でした。また、10月に開催された同大会の近畿地区予選では優勝しました。



第16回全国高等専門学校英語プレコンで入賞

2023年1月に東京都の一橋大学一橋講堂で第16回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストが開催され、シングル部門で電気情報工学科4年生の山田歩佑さんが“The Wonder of the Abacus!”で3位に入賞し、チーム部門で知能機械工学科4年生の瀧川悠羽さんと津村百香さん、電気情報工学科4年生の岸華音さんが“Electric Vehicles and Minicars”で日本能率協会会長賞を受賞しました。



高専女子フォーラムin関西2022で発表

2022年12月に大阪府のクリエイターズプラザで高専女子フォーラムin関西2022が開催されました。本校から女子学生13名が参加し、企業関係者や中学生とその保護者らに対して、作成したポスターを基に、自身の「研究内容」、「寮生活」、「女子1年生の学校の印象」、「学校のボランティア活動」について発表を行いました。

総合教育科 Faculty of Liberal Arts

総合教育科は、4学科共通の基礎教育科目である数学、理科、国語、社会、外国語、体育、芸術などで構成され、全学科の学生が学びます。

高度な専門教育をより確実により深く学ぶための準備段階として、言語、論理、感性、社会、健康に関する授業カリキュラムが編成されています。

総合教育科 学習の心得

1 「論理的思考を楽しむ」

自由な視野のもとで事物の本質を論理的に考え、ときには前提となる基盤さえも柔軟に更新するほどの論理的思考を楽しむ。

2 「驚きとともに学ぶ」

共感をもって人と自然から謙虚に学び、驚きとともに問題を発見する行為を通じて、学ぼうとする自己を新鮮に保つ。

3 「他者を知って助けあう」

心身を健やかに保ち、折り目正しく、物怖じせず、礼を重んじることで、ともに助けあえる協力関係を作る。



数学

技術者には物事を数学的に深く理解する力が求められます。高専では、このような数学の利用を想定して、学習の内容や順番が決まっています。



理科

高専における理科は、専門工学の基礎となる物理・化学の学習が中心ですが、地球環境に対する理解を深めるため、生物・地球科学も学習します。



国語

技術者にとって欠くことのできない、生産的な言語コミュニケーション能力の獲得を目的として、情報の受信から発信に至る日本語能力を、論理的思考・言語的感性の両面にわたって育成します。



社会

社会の歴史・現在を様々な角度から考察し、社会の分析・考察する能力を高め、科学技術が現代社会にとって持つ意味を多角的に捉えます。



英語

技術者に要求される実践的コミュニケーションに対応するため、「英語で積極かつ能率的に情報を受信・発信できる能力」を養います。



体育

保健・体育、芸術を通じて、心身の健康を培い、論理的思考はもちろんのこと、社会人として、あるいは人間として必要な、豊かな感性と表現力を養います。

|| 総合教育科のカリキュラム

1年	2年	3年	4年	5年
	数学			
	物理			
	化学			
	総合理科			
	国語			
		思考と表現		
歴史総合	現代の世界	政治・経済	日本経済論	地域と文化
日本史探究	日本史	倫理		
	わかやま学			
	英語総合		英語	
英語表現	英会話	英文法	第2外国語	
	保健・体育			
芸術				

総合教育科の特色 ～ こんなところに力を入れています ～

総合教育科の担当する教育分野は自然・人文・社会の多岐にわたっており、そのレベルは高校から大学におよびます。これらは大学の一般教養に類似のものとして理解されることもありますが、高専での位置づけは大きく異なっています。高専では「技術者の育成」という目標を5年間で達成することに特化した教育と学習の計画(モデルコアカリキュラム)が組み立てられており、技術者に必須とされる素養の教育担当が低学年から高学年に向かって総合教育科から専門学科へグラデーションを持って入れ替わります。そこには高校と大学の間にある大学入試の様な小人数を選抜する壇はありません。学生全員が各自の選択に沿った技術者になるための枝分かれしてゆく幾多の過程が存在し、学生はそれを最後まで走り切る必要があります。総合教育科が主に担当する低学年教育は、この枝分かれ前後の幹や主枝に相当し、「選択のための感性」と「走り切るための体力」を養うものであるため、専門教育に進む個々の学生に与える影響は非常に直接的かつ恒常的なものとなっています。

Voice ～ 在校生、教員の声 ～

畔川 大空さん 生物応用化学科2年生



入学当初は、人間関係や勉学のことなどで不安になった時もありましたが、友人や先輩方のおかげで、今ではとても充実した生活を送ることができています。
また、高専では、一日の生活の中で予習や復習をうまく取り入れることが重要になります。自主学習のペースを掴むと、遊ぶ時間も確保できるので、友人との関係にも励み、今では楽しい生活を送っています。

総合教育科 池田 浩之 准教授(天文学)



高度な専門知識を身につけるためには、各科目に対して真剣に取り組むことが重要です。単に授業の内容を丸暗記するのではなく、自主的に授業の予習・復習を行い、理解を深めることが必要です。また、他の資料や参考書を活用することで、より広い知識を身につけることができます。自分自身で学ぶ習慣を身につけ、高度な専門知識を獲得するための努力を怠らずに頑張ってください。

知能機械工学とは、ロボットや次世代自動車、医療福祉機器など、「考えて動く」機械システムの実現を目指す新しい学問分野です。本学科では、物理・数学・英語などの教養科目で基礎を固め、材料・熱・流体・機械力学に代表される機械工学に電子制御・情報工学を加えた専門科目で応用力を磨く複合的カリキュラムを準備しています。広範囲の知識と技術を持ち、環境(SDGs)にも配慮しながら行動できる次世代のものづくり技術者の育成をめざしています。

知能機械工学科で修得する能力

- 機械工学分野に関する幅広い最新の知識・技術を活用して課題を解決できる能力。
- 地球環境の保全、地域社会との共生など、公共の安全・利益に配慮した倫理的な考え方ができる能力。
- 学問的知識を駆使し、諸問題を的確に理解・分析し論理的に思考できる能力。
- 国内外で通用するコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力。



ロボットプログラミング導入演習 <1年生:コンピュータ入門>



旋盤加工実習 <2年生:工作実習>



コンピュータを使った設計(CAD)<3年生:機械設計製図>



翼まわりの風の流れの風洞解析 <4年生:機械工学実験>



電子回路(OPアンプ)の製作評価実験 <4年生:機械工学実験>



卒業研究の成果発表会 <5年生:卒業研究>

|| 知能機械工学科のカリキュラム

1年	2年	3年	4年	5年	卒業研究
	工業力学	材料力学		振動工学	
		材料学		材料強度学	
		熱力学	工業熱力学		
		水力学	流体力学	流体工学	
		機械設計法		機械システム工学	
	機械工作法				
	機械設計製図		計測工学		
	工作実習	ロボット創作実習	機械工学実験		
コンピューター入門	機構学		情報処理	情報工学	
詳しくはこちらへ 			自動制御	メカトロニクス設計	
			電子制御	工業外国語	
		応用物理	応用数学		
			学外実習 県内インターンシップ		

学科の特色 ～ こんなところに力を入れています ～

進化の激しい技術革新に対応する力を身につけるために、協働ロボットやコンピュータシミュレーションを講義や実習に導入しています。知能機械工学の基幹科目である機械設計や工作実習、コンピュータについては、1年次から段階的かつ継続的に学ぶことができるように配慮しています。学会や公開講座にも参加して、自分の知識や力を試す社会実装の機会も提供します。



協働ロボットのプログラミング



部材の強度計算シミュレーション



こども向け公開講座で講師を担当

Voice ～ 卒業生の声 ～

村上 和音さん 令和4年度卒業



実際に機械を設計したり製作したりするには、機械に加えて電気回路や情報・材料・化学・力学など広範囲の知識が必要です。学科名称は知能機械ですが、このように広範囲を学ぶのが知能機械工学科です。特に高学年での専門科目で、高度な知識を習得できます。私はこれらの分野についてさらに学ぶために、本校卒業後は豊橋技術科学大学に進学し、さらに研鑽を積みます。

小林 稜平さん 令和2年度卒業



私は現在、関西エアポートテクニカルサービス(株)に所属しており関西国際空港で勤務しています。空港特有の設備業務ルールが多く存在し、一般のサラリーマンでは経験できない様なことを数多く経験できたことに、誇りと魅力を感じています。関空は現在、世界中からより多くのお客様を迎え入れるためにリノベーション工事をし、着々と姿を変え続けています。そんな関空に負けじと、私も日々精進しています。

電気情報工学科では、豊かな生活を支え、社会、産業の発展に大きく寄与している電気・電子・情報・通信などの基礎技術を身につけ、日々進歩し続ける電気情報技術に柔軟に対応できる課題発見と解決の能力を備えた技術者を育成します。

電気情報工学科で修得する能力

- 電気工学分野及び情報工学分野に関する幅広い最新の知識・技術を活用して課題を解決できる能力。
- 地球環境の保全、地域社会との共生など、公共の安全・利益に配慮した倫理的な考え方ができる能力。
- 学問的知識を駆使し、諸問題を的確に理解・分析し論理的に思考できる能力。
- 国内外で通用するコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力。



5B実験(オペアンプ特性測定実習)



2B実験(電子回路工作)



講義(電気設計)



卒業研究



卒業研究(研究会)



卒業式(集合写真)

電気情報工学科のカリキュラム

1年	2年	3年	4年	5年
	情報処理	アルゴリズムとデータ構造	情報通信	
計算機入門	計算機アーキテクチャー		OSとセキュリティ	
	電気回路		回路網理論	
	マイクロコンピュータ	電子回路		IC応用回路
		電気機器	電子計測	自動制御
			電気材料	
			電子工学	
		電気磁気学		
			送配電工学	高圧工学
			発電工学	パワーエレクトロニクス
			システム設計	電気設計
			学外実習 県内インターンシップ	電気法規・電気施設管理
			企業実践講座	
電気情報工学実験				

卒業研究

学科の特色 ～こんなところに力を入れています～



電気情報工学科では、電気・電子・情報系分野の講義や実験を通して、人類の未来を切り拓くことのできる人材育成を行っています。そのため、最新テクノロジーを積極的に実験や実習に取り入れています。例を挙げると、人工知能(AI)・仮想現実(VR)・IoTといった最新のIT技術について、講義以外にも卒業研究として学生にも取り組んでもらっています。

Voice ～卒業生の声～

野田 綾音さん 令和2年度卒業



東海旅客鉄道株式会社は、東京～大阪間の新幹線事業、名古屋・静岡を中心とした在来線事業を通じて、日本の安全・安定輸送を維持する会社です。私の所属する電気技術センター(電灯)では、新設・取替工事、外観検査などを通し、駅・沿線設備の保守管理を行っています。専門知識が必要となる職種のため、毎日が学びの連続ですが、新設した設備をお客様に使っていただいている場面を見る機会も多く、やりがいを感じております。

大本 凌雅さん 令和3年度卒業



私が勤務している住友電設株式会社は、ビル・街・世界を舞台に、電力流通・電気設備・太陽光発電・通信施設・各種製造プラントなどの社会インフラ基盤の整備に取り組んでいます。私はその中の、電気設備部門に所属しています。主に、建造物の電灯、コンセント、自火報、盤などの、設置工事の管理を行っています。建造物の命とも言える電気設備の工事を行うことができる非常にやりがい大きい仕事です。

生物応用化学科では、物質の分析・合成・分離に関する化学的知識・技術、ならびに、生物のタンパク質や遺伝子に関する工学的知識・技術を身につけ、自ら課題・問題を発見し、地球環境保全を十分考慮しながら、それらに柔軟に解決できる能力を備えた技術者を育成します。4年生からは「応用化学コース」と「生物化学コース」に分かれ、より専門的な学習をします。

生物応用化学科で修得する能力

- 応用化学分野及び生物工学分野に関する幅広い最新の知識・技術を活用して課題を解決できる能力。
- 地球環境の保全、地域社会との共生など、公共の安全・利益に配慮した倫理的な考え方ができる能力。
- 学問的知識を駆使し、諸問題を的確に理解・分析し論理的に思考できる能力。
- 国内外で通用するコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力。



1年生 生物応用化学実験I



2年生 生物応用化学実験II



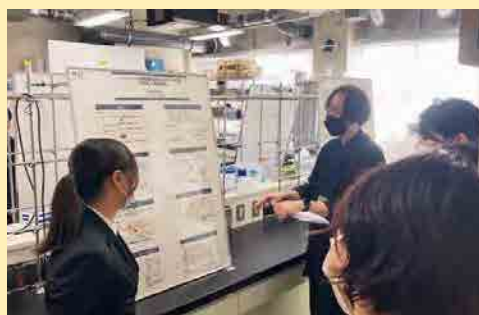
3年生 生物応用化学実験Ⅲ(自由実験テーマ)



4年生 生物応用化学実験Ⅳ



5年生 卒業研究(アマモ場底質の採取)



5年生 卒業研究中間発表会

生物応用化学科のカリキュラム

1年	2年	3年	4年	5年	卒業研究
化学		情報処理	学外実習 県内インターンシップ	地域イノベーション 工学特論	
	有機化学		高分子化学	合成化学	
		無機化学		先端工学概論	
生物応用化学入門	分析化学		機器分析		
		物理化学		反応工学	
			化学工学		
	生物	生命科学	生物化学	生物資源科学	
			分子生物学		
			発酵科学	食品工学	
生物応用化学実験Ⅰ	生物応用化学実験Ⅱ	生物応用化学実験Ⅲ	生物応用化学実験Ⅳ	工学ゼミナール	

学科の特色 ～ こんなところに力を入れています ～

低学年のうちから教員の指導の下で研究活動を行い、それらの研究成果が評価されています。また、自主的に実験を考えて工夫し、ジュニアドクター育成塾やイベントなどを通して子供や地域の方々に指導しています。



学会での受賞



イベントへの参加



公開講座での指導

Voice ～ 卒業生の声 ～

舟浴 佑典さん 平成18年度卒業



好きな分野を究めたいという思いから卒業後進学し、現在は当校の生物応用化学科の教員として教育・研究に従事しています。当時の興味は今の研究内容にも色濃く反映されており、実験の技術や物事への考え方も在学中に得たものが基盤となっています。高専では、皆さんの「好きなことを究めたい」という思いに応えることのできる環境・制度・人材が揃っています。ぜひ、高専で化学や生物の面白さに感動し、ともに成長を目指しましょう。

松坂 美音さん 令和4年度卒業



高専への入学を決めたきっかけは化学が好きという点と就職率の高さです。私は、高専の1番の魅力は選択性の高さだと感じています。一年生の頃から実験を行い、様々な知識を身につけることができる他、自分なりの好きや得意を見つけ、極めることができる環境が高専にはあります。現在、私は化学メーカーで医療用具の開発に携わっており、充実した日々を送っています。皆さんもぜひ高専で自分の好きを見つけ、成長する機会を掴んでください。

環境都市工学科が目指すのは、社会基盤施設の整備を通じ、人や地域、社会全体を互いに「つなぎ、守り、支える」ことができる人の育成です。その実現のため、本学科は建設、環境保全、防災、まちづくりの4分野に関する専門の教員を擁し、それぞれの授業科目と実験実習科目を備えています。

環境都市工学科で修得する能力

- 土木工学分野に関する幅広い最新の知識・技術を活用して課題を解決できる能力。
- 地球環境の保全、地域社会との共生など、公共の安全・利益に配慮した倫理的な考え方ができる能力。
- 学問的知識を駆使し、諸問題を的確に理解・分析し論理的に思考できる能力。
- 国内外で通用するコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力。



開水路での水理実験における計測



鉄筋コンクリート梁の曲げ試験



土のせん断強さを調べる試験



海洋の水質分析



都市デザインディスカッション



製図の実習

環境都市工学科のカリキュラム

1年	2年	3年	4年	5年	卒業研究
		情報・基礎科目			
コンピューターリテラシー	基礎情報処理演習		応用情報処理演習		
		応用物理	応用数学		
専門基礎		建設系			
環境都市工学通論		構造力学			
防災学概論	建設材料学	コンクリート構造工学	施工管理学	社会基盤メンテナンス工学	
基礎製図I			橋梁工学	振動工学	
		水理学			
			河川工学	海岸工学	
		測量学		設計製図Ⅲ	
		土質力学		地盤工学	
		環境系			
	環境工学基礎		環境工学		
			計画系		
			都市地域計画	計画数理	
				交通システム	



その他にも、魅力的な科目は色々あるよ!
 ・海外異文化交流(留学)
 ・学外実習
 ・県内インターンシップ等...

学科の特色 ～こんなところに力を入れています～

トンネルなどの施工現場見学や、建設機械の操縦体験などで建設技術を体験できるほか、さまざまなコンテストに参加できるサポート体制を整えています。また、大学との研究交流や、大学の先生を招き最新の技術・研究についてお話しいただくなど、学生自身がよりよい将来を考える機会を提供しています。



現場見学にも毎年出かけています



大学の研究室との研究交流

資格試験にも 多数合格しています

〈2022年度の合格者〉
 技術士1次試験 12名
 2級土木施工管理技士 17名
 環境社会検定 12名
 TOEIC730点以上 1名

Voice ～卒業生の声～

東垣内 葵衣さん 令和3年度卒業



私は、株式会社総合技術コンサルタントに入社し、現在は道路設計に携わっています。私達が日常で使用する道路や橋などの設計はやりがいと責任の重さを感じます。一方で、将来何十年も公共資産として利用され、その設計や施工に携われるのは土木の魅力の一つだと思います。高専では、低学年から専門的な授業があり、実習や実験、授業や研究に対して真剣に取り組んできたことが、今の仕事に大いに役立っていると感じます。

森本 喬太さん 平成23年度卒業



高専在学中にインテリア照明に興味をもち、大学で建築/光環境を専攻、就職後はメーカーで照明器具の設計開発を行っていました。現在は和歌山高専に戻り、測量実習など自分が当時高専で学んだことを、学生に教える仕事を行っています。環境都市工学科で学ぶ内容は、土木以外の分野でも応用できることが多く、卒業後の幅広い選択肢につながると感じています。話の詳細は高専で。皆さんと授業で会える日をお待ちしています。

専攻科は、高専本科卒業生およびこれと同等の資格を有する社会人等を対象として、さらに深く、幅広く教育研究を行う2年制の課程です。本科の4、5学年と合わせて「地域環境デザイン工学」教育プログラムを設定し、①持続可能な社会の形成に活かせる創造力、②多面的に問題を発見し、解決する能力、③豊かな人間性と国際性を備えた人材を育成します。

専攻科には、メカトロニクス工学専攻とエコシステム工学専攻の2専攻があり、それぞれでこれまで行ってきた卒業研究等をさらに深く探求する特別研究を実践し、広く国内外の学会等で成果を発表しています。専攻ごとの定員が8名であることから、多くの講義が少人数で行われ、教員とのフェイス ツー フェイスによる指導で、確かな実力が身につきます。

また、(独)大学改革支援・学位授与機構から特例適用専攻科の認定を受けており、修了をもって大学の工学部卒業生と同じ学士(工学)の学位を取得できます。

メカトロニクス工学専攻

メカトロニクス工学専攻では、知能機械工学科および電気情報工学科において修得した知識と技術を基盤に、メカニクスとエレクトロニクスを融合した計測・制御、電子・情報、材料、設計・加工等の高度な知識と技術を学びます。さらに、何らかの制約が与えられた条件の下、自らが問題を提起し、解決法を見出し、実行する訓練を行います。これにより、企業等で製品や製造プロセスの設計・開発を行うことのできる技術者、または大学院でさらに高度な知識と技術を修得できる素養を持つ人材を育成します。



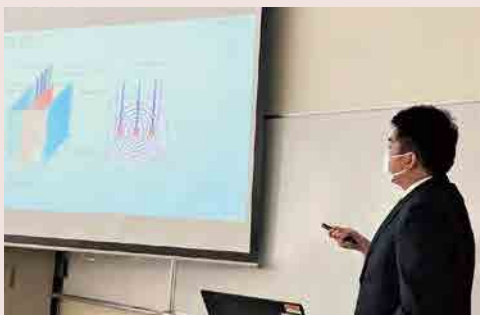
VRデバイスの作製

エコシステム工学専攻

エコシステム工学専攻では、生物応用化学科および環境都市工学科において修得した知識と技術を基盤に、両専門分野を総合するとともに、環境問題を幅広く考慮することを重視した指導を行います。これにより、幅広い視点に立ち、人類に役立つ物質を化学やバイオ技術を駆使して創造できる能力、あるいは都市環境を形成する土木構造物や環境システムの設計・開発等を行うことのできる能力、さらには、地球環境保全にも十分に対応できる能力等を備えた先端技術者を育成します。



遺伝子細胞工学(生態系とインフラ整備の見学)

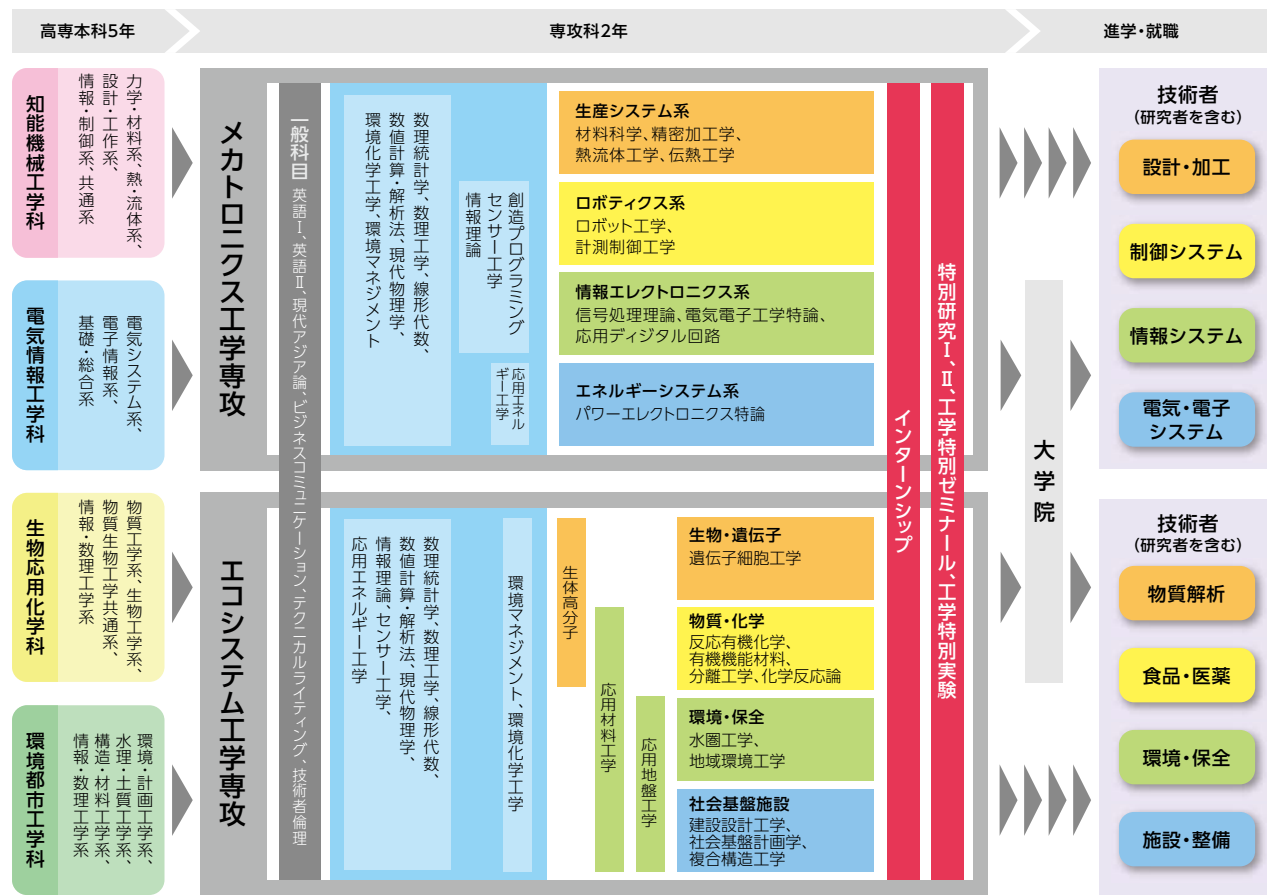


特別研究発表会の様子



研究奨励の採択

各専攻のカリキュラム



各専攻の特色 ~ こんなところに力を入れています ~

工学特別実験では、前半は創造デザインと題して、出身学科の異なる学生がグループになり、それぞれの専門技術に関する実験を行い、与えられた課題解決に取り組みます。後半は地域環境デザイン工学に関する実験・演習と題して、さらに専門性を深めることを目的とし、主に地域に関する問題点に対して実験・演習を行います。

インターンシップでは、企業・自治体等における就業体験や大学院における研究室体験を行っています。各専攻に関わる技術等についてより実践的に学修する機会を提供しています。

特別研究では、指導教員のもとでテーマを設定し、2年間かけて研究を実施します。研究テーマは社会のニーズや地域の諸課題等を考慮して設定できます。研究成果は国内外の学会等で大学生・大学院生に混じて発表しています。

専攻科修了後は、企業の技術者、公務員、大学院進学などの進路があり、希望の進路に進むことができるような学修内容が提供されています。

Voice ~ 修了生の声 ~

中村 蒼紫さん 令和4年度修了



私は本科の研究テーマを専攻科でも引き続き研究し、三年間研究を続けられたことでより深い知識が身につきました。また、情報処理学会や国際学会などの研究発表にも参加し、賞を受賞するなど貴重な経験ができました。専攻科では、なじみのある環境で幅広い知識を学ぶことができ、将来の選択肢を増やすことができることも魅力の一つです。

奥浜 真乃助さん 令和元年度修了



「発酵で世界の健康を支えたい」この想いで研究職に就いています。きっかけは、卒業研究やインドネシア留学で発酵食品の豊富な栄養素と微生物の奥深さに魅了されたことです。高校や大学にはない、積極的なチャレンジが出来る環境が和専にあります。仕事で壁にぶつかった時は御坊で培ったチャレンジ精神で奮い立たせています。

II クラブ活動

学生は、クラブ活動を通して、高専体育大会、高専ロボコン大会、高専各種コンテスト、県高校体育連盟、県高校野球連盟等の競技大会で活躍しています。また、演奏会や公開講座などによって地域の文化向上にも貢献しています。

体育系クラブ

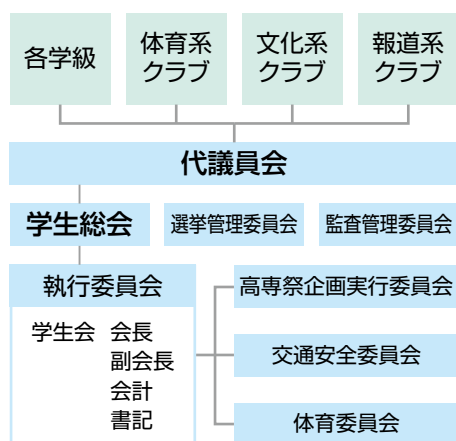
陸上競技部、硬式野球部、サッカー部、テニス部(硬式)、ソフトテニス部、水泳部、バレーボール部(男女)、バスケットボール部(男女)、バドミントン部、卓球部、ハンドボール部、柔道部、剣道部、弓道部

文化系クラブ

ロボコン部、コンピュータ部、吹奏楽部、軽音楽部、サイエンス同好会、音楽同好会、写真部、総合美術同好会、ボランティアサークル・アミーバ

III 学生会

本会は、学生の自発的な活動を通してその人間形成を助長することを目的に学生会員で構成されています。学生会の活動中心である執行委員会は、高専祭、体育大会などを主催するほか、近畿地区高専との交流会等を通じ、自主活動の研鑽に努めています。



R4全国高専大会柔道競技で個人戦入賞



近畿地区高専大会水泳競技



全国高専ロボコン2022ベスト4



ボランティアサークル・アミーバ(清掃作業の様子)



高専祭 ステージ企画



校内体育大会 バスケットボール



学生会へ厚生労働大臣感謝状

学生達が参加している主なコンテスト一覧

コンテスト名
全国高等専門学校ロボットコンテスト
英語プレゼンテーションコンテスト
プログラミングコンテスト
デザインコンペティション
コンクリートカヌー競技大会
インターナショナル・ロボット・ハイスクール
高専防災減災コンテスト
サイエンスキャッスル

III 国際交流

グローバル人材の育成を促進する本校では、2010年春に学内に国際交流会館を設置し、学校同士の交流に活用しています。2004年から学生交流を継続して実施している上海電機学院(中華人民共和国)に加え、2016年からはアトマジヤヤ大学およびスラバヤ工科大学、2017年よりボゴール農科大学(いずれもインドネシア共和国)との学生交流も展開しており、ますます国際的に開かれた高等教育機関を目指した運営を行っています。学術交流協定を締結している上記大学には、これまでに延べ193人(上海183人、インドネシア10人)の学生が留学しています。これらの学生は、文部科学省とJASSO(日本学生支援機構)が実施している「トビタテ! 留学JAPAN」をはじめとしたさまざまな海外留学制度を利用しています。海外渡航が制限された2020~2022年には、上海電機学院の学生とのWeb交流会に多くの学生が参加しました。

また、2023年にはマレーシア、モンゴル、カンボジアから新たに4人の国費や政府派遣の留学生を迎え、合わせて10人の留学生たちが日本人学生とともにプロフェッショナルな技術者を目指して学んでいます。



上海電機学院とのWeb交流会

学生寮(柑紀寮)

集団生活を通じて人間形成を図る教育の場として、学生寮(柑紀寮、定員471人(男子345人、女子126人))を設置しています。

協力と信頼に基づく集団生活から、自立と協調の精神や豊かな人間性が養われます。寮生活や学習の指導には、上級生の指導寮生があたり、寮生で組織された寮生会が、学寮生活に彩りを添える、さまざまな行事を開催します。

第1、第2学年の男子学生は、原則として全寮制となっています。第3学年以上の男子学生及び全学年の女子学生の入寮は任意となり、選考により入寮を許可します。(入寮許可期間は1年間です。)

現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、また、3号館と4号館が改築中であることから、入寮者数を制限して運用しています。

各学年全学生中の入寮率

1年生	82%
2年生	78%
3年生	53%
4年生	29%
5年生	25%
専攻科生	20%
男子	51%
女子	53%

男子寮6棟(男子学生339名) 女子寮2棟(女子学生107名)
合計446名(留学生・専攻科生を含む)

各室定員 低学年1~2名、高学年1~2名

寄宿料 700~800円(月額)
※光熱水費等は別途負担

各室備品 学習机・書棚・ベッド・ロッカー・エアコン・インターネット接続用モジュラージャック

補食室備品 冷蔵庫・電子レンジ・IHコンロ

洗濯室備品 洗濯機・乾燥機

交流スペース(談話室)備品
テレビ・エアコン・インターネット接続用無線LAN

学科、学年別の入寮者数

2023年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	専攻科	計
知能機械工学科	37(4)	31(2)	24 ⁽³⁾ ₍₁₎	16 ⁽²⁾ ₍₁₎	13 ⁽⁴⁾ ₍₁₎		121 ⁽¹⁵⁾ ₍₃₎
電気情報工学科	36(7)	34(1)	20 ⁽¹⁾ ₍₁₎	12 ⁽⁴⁾ ₍₁₎	9 ⁽³⁾ ₍₁₎		111 ⁽¹⁶⁾ ₍₃₎
生物応用化学科	33(14)	33(15)	23 ⁽⁸⁾ ₍₁₎	12 ⁽⁷⁾ ₍₀₎	7 ⁽⁵⁾ ₍₀₎		108 ⁽⁴⁹⁾ ₍₁₎
環境都市工学科	29(10)	26(5)	24 ⁽⁶⁾ ₍₁₎	8 ⁽⁰⁾ ₍₁₎	9 ⁽¹⁾ ₍₁₎		96 ⁽²²⁾ ₍₃₎
メカトロニクス工学専攻						7(3)	7(3)
エコシステム工学専攻						3(2)	3(2)
計	135(35)	124(23)	91 ⁽¹⁸⁾ ₍₄₎	48 ⁽¹³⁾ ₍₃₎	38 ⁽¹³⁾ ₍₃₎	10(5)	446 ⁽¹⁰⁷⁾ ₍₁₀₎

()内は女子内数 ◇は外国人留学生内数



柑紀寮全景



男子寮居室(5号館)



女子寮居室(1号館)



寮食堂



寮食メニュー



キッチン(5号館)



交流スペース(5号館)



ウェルカミングパーティー(バレー大会)



寮内勉強会(ラーニング commons)

研究活動・地域との連携

地域共同テクノセンター

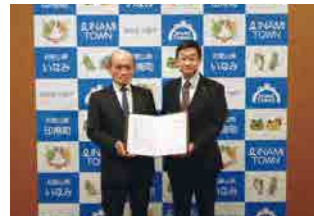
地域共同テクノセンターは、地域との交流活動を行うことを目的として1995(平成7)年に開設されました。以来、各学科の多岐にわたる教育研究の特徴を活かし、地域産業界の動向や要請を十分に組み入れた技術者教育や共同研究等を推進してきました。

地域共同テクノセンターでの主な活動内容

- 1 地域産業への技術協力
- 2 共同研究・受託研究の推進
- 3 公開講座・出前授業等を通じた社会貢献
- 4 学生に対する地域基盤型科学技術教育の充実



御坊市との包括連携協定締結



印南町との包括連携協定締結

1997(平成9)年には、地域との更なる連携を目的として、本校と御坊市域の企業等で構成される「和歌山工業高等専門学校産官学技術交流会」が、1999(平成11)年には田辺市域の企業を主要会員とする「南紀熊野産官学技術交流会」が発足しました。

また、2008(平成20)年に地域経済の活性化を目的として(株)紀陽銀行と包括的な連携協定を、2011(平成23)年に近畿7高专と(財)大阪科学技術センターとが産学連携事業実施に係る覚書を、同年12月に(独)産業技術総合研究所関西センターと連携・協力に係る覚書を締結しました。加えて2016(平成28)年には、地元企業からの技術相談等への迅速な対応と事務の簡略化を目的に(公財)わかやま産業振興財団と連携協定を締結しました。さらに地域自治体と連携を深めるため、2020(令和2)年には御坊市と、2021(令和3)年には印南町と包括連携協定を締結し、教育や防災、地域経済を支援する研究などに係る連携を、2023(令和5)年には有田市教育委員会と連携協定を締結し、小中学校の科学教育分野の支援等に関する連携を開始しました。高专間では、2018(平成30)年には三重県の鳥羽商船高等専門学校と包括連携協定を締結し、「海」をキーワードにした教育・研究で紀伊半島横断型の連携を深めています。

地域産業との技術交流

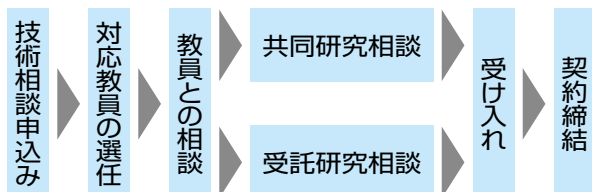
地域共同テクノセンターでは、「研究協力、技術協力や技術相談への対応」および「地域産業界との交流促進」を重要な方針と位置づけて、本校の得意技術分野で地域産業界からの要請に即応できる体制を整えています。さらに、地域産業界への情報発信と意見交換の場として、技術交流会、技術懇話会、教育研究発表会、テクノサロン、技術講演会等々を外部と連携しながら積極的に開催しています。また、地域の防災に関する取組を通じて地域の防災力の強化も目指していきます。

人材育成の活動としては、2015(平成27)年に地(知)の拠点(COC)校として文部科学省の認定を受け、学生に対する地域密着型の地方創生教育を充実させました。また、各学科および技術支援室の教職員により、地域の小中学生を対象とした公開講座および出前授業等を開催してきました。2020(令和2)年からは「きのくにジュニアドクター育成塾」事業を開始し、小中学生への科学技術教育をさらに拡充させて地域の人材育成にも貢献しています。

なお、これらイベントについては、しばらくの間コロナ禍につきオンライン開催等の制約もありましたが、徐々にコロナ禍前の規模や開催数に戻り、地域貢献の基盤が復活しつつあります。

また、本校では種々の分析や測定向けに最先端の研究装置・機器を多数保有し、様々な研究や技術相談に対応しています。

詳細については、本校ホームページの地域共同テクノセンターのページで随時公開していますのでぜひご覧ください。



きのくにジュニアドクター育成塾の様子



本校での公開講座の様子

メディアセンター

図書館

開館時間 平日：午前9時～午後9時(休業期間中は午後5時まで) 土曜：午前10時～午後4時(授業期間中のみ)

図書館では、専門書、学習参考書、一般教養書などの諸図書や新聞・雑誌など、および視聴覚資料としてビデオテープ・CD・DVDなどを備え、学生および教職員に種々の学術情報を提供しています。

また、地域に開かれた図書館としても情報サービスに努めており、和歌山県内の図書館及び図書室等との緊密な連携のもとに、図書館事業の充実と生涯学習の発展に寄与することを目的として、和歌山地域図書館協議会を組織し、所蔵資料の現物貸借や複写サービス等を提供しています。

蔵書数

2023年4月1日現在

		計
単行書	0. 総記	3,973 (冊)
	1. 哲学	3,934 (冊)
	2. 歴史	7,191 (冊)
	3. 社会科学	7,902 (冊)
	4. 自然科学	19,138 (冊)
	5. 技術	19,920 (冊)
	6. 産業	1,749 (冊)
	7. 芸術	3,983 (冊)
	8. 言語	5,378 (冊)
	9. 文学	15,049 (冊)
	計	88,217 (冊)
雑誌		414 (種)



情報処理教育センター

情報処理教育センターは、教育用パーソナルコンピュータ131台と教育用サーバー3台を設置し、本校の教育・研究・地域連携活動を情報処理の側面から支えています。

教育用パソコンを、コンピュータ利用の基礎、IT応用ソフトウェアの利用および各種のプログラミング言語の学習に活用しています。

また、高度情報化に対応する先端機器を設置しており、学内に整備された光ファイバによるギガビットイーサネットを活用して、センター演習室や各学科研究室から世界に対して情報収集・発信しています。



学生用演習室

教育用PC…ICTルーム1 (50台)、
ICTルーム2 (50台)、
専攻科棟マルチメディア教室 (31台)

センター利用時間

平日：午前8時30分～午後5時



ものづくりセンター

ものづくりセンターは、工作実習や工学実験、卒業研究や特別研究などの活動を支援する学内共同利用施設です。工作実習では、基本的な工具類の安全で正しい使用方法から、最新のCNC(コンピュータ数値制御)工作機械を用いた高度な加工方法までの技能を修得します。工学実験では、より高度な課題に取り組みます。研究で必要な材料や装置の製作にも利用されます。また、当センターは、ロボコンなど課外活動の場としても広く活用されています。



学年暦・学校行事



■ 入試関係
■ 寮関係

前学期		
<ul style="list-style-type: none"> 入学式 始業式 創立記念日 	<ul style="list-style-type: none"> 入寮 定期健康診断 指導寮生任命式・研修会 救急救命講習会 学生会クラブ紹介 寮生避難訓練 新入生オリエンテーション ウェルカミングパーティー 	4月
<ul style="list-style-type: none"> 授業参観 専攻科入学試験(推薦) 専攻科入学試験(社会人) 専攻科入学試験(学力) 	<ul style="list-style-type: none"> 校内体育大会 消防避難訓練 学生総会 寮生総会 	5月
前期中間試験	<ul style="list-style-type: none"> 寮部屋替(1年) 寮祭 留学生スピーチ大会 近畿地区高専体育大会 	6月
<ul style="list-style-type: none"> 前期末試験 保護者個別懇談(7~9月) 	<ul style="list-style-type: none"> なるほど体験科学の祭典 近畿地区高専体育大会 	7月
<ul style="list-style-type: none"> 編入学試験 オープンキャンパス 夏季休業 ガールズKOSENステイ 	<ul style="list-style-type: none"> 閉寮 公開講座 全国高専体育大会 	8月
		9月

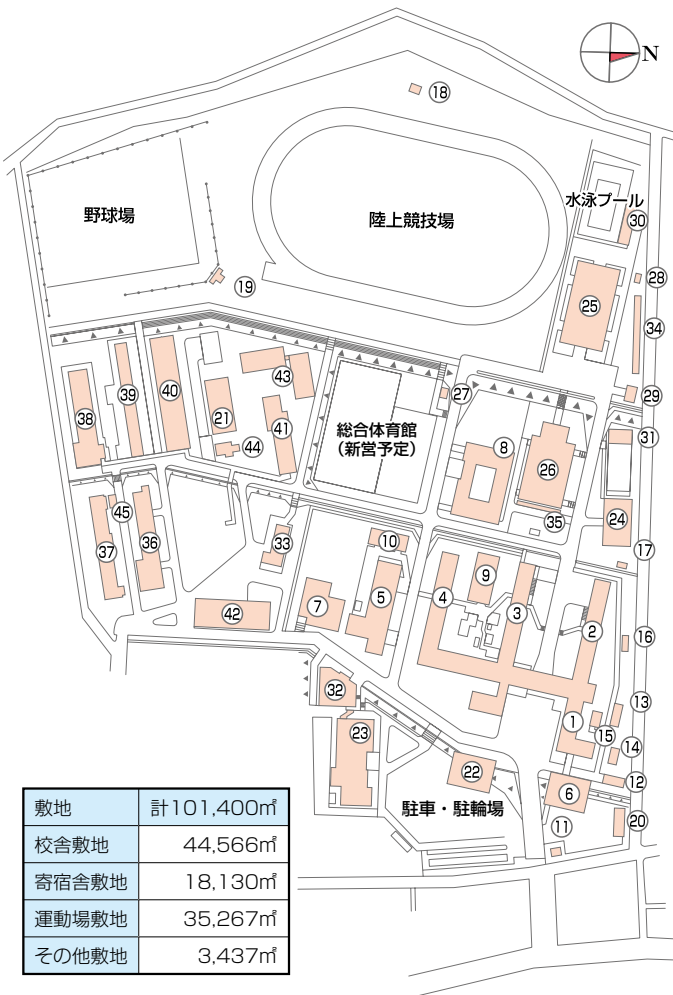
後学期

10月	学校説明会	寮部屋替 プログラミングコンテスト本選 ロボコン近畿地区大会 開寮 指導寮生任命式・研修会 ● 寮生避難訓練
11月	後期中間試験	高専祭 ● 英語ブレコン近畿地区大会 ロボコン全国大会 ● デザインコンペティション 避難訓練 指導寮生研修会(他高専訪問) 学寮スポーツ大会 上海電機学院から短期留学
12月	冬季休業	進路指導説明会 産業勉強会 クリスマスバレーフェスティバル 閉寮
1月	学校長推薦入試 体験実習入試	学生総会 開寮 寮生総会 英語ブレコン全国大会 ●
2月	後期末試験 学力検査入試/帰国生徒 特別選抜入試 終業式	本科卒業研究発表会 閉寮
3月	卒業証書授与式 ● 学年末休業	上海電機学院短期留学派遣 ●



■ 入試関係
■ 寮関係

校舎配置図



敷地	計101,400㎡
校舎敷地	44,566㎡
寄宿舍敷地	18,130㎡
運動場敷地	35,267㎡
その他敷地	3,437㎡

- 校舎**
- 1 本館(総合教育科・管理部)
 - 2 本館(生物応用化学科)
 - 3 本館(電気情報工学科)
 - 4 本館(知能機械工学科)
 - 5 環境都市工学科棟
 - 6 地域共同テクノセンター
 - 7 普通教室棟
 - 8 ものづくりセンター
 - 9 学生課
 - 10 水理実験室
 - 11 門衛所
 - 12 バス車庫
 - 13 事務倉庫1
 - 14 事務倉庫2
 - 15 用具倉庫
 - 16 危険物貯蔵所
 - 17 物質化学実験室
 - 18 陸上器具庫
 - 19 体育用具庫
 - 20 車庫
 - 21 廃水処理施設
 - 22 専攻科棟
 - 23 メディアセンター

- 屋内運動場**
- 24 武道場(解体予定)
 - 25 第1体育館(解体予定)
 - 26 第2体育館(解体予定)
 - 27 屋外便所1
 - 28 屋外便所2
 - 29 体育器具庫
 - 30 プール附属屋
 - 31 弓道場

- 福利厚生施設**
- 32 福利センター・国際交流会館
 - 33 課外活動施設
 - 34 部室1(解体予定)
 - 35 部室2(解体予定)

- 寄宿舍**
- 36 寄宿舍1号館・事務室
 - 37 寄宿舍2号館
 - 38 寄宿舍3号館(改築中)
 - 39 寄宿舍4号館(改築中)
 - 40 寄宿舍5号館
 - 41 寄宿舍6号館
 - 42 寄宿舍7号館
 - 43 寄宿舍8号館
 - 44 寄宿舍ボイラー室
 - 45 寄宿舍電気室



学生の福利厚生施設

学生の福利厚生施設として、学生食堂、オープンラウンジ、アメニティルームがあります。屋外にもテーブルやベンチを設置しており、憩いの場として利用されています。また、女子学生更衣室も設置しています。

学生食堂



屋外ベンチと
テーブルセット
(オープンテラス)

女子学生
更衣室



障害者への支援

障害者支援は、学生支援室を中心に対応し、個々の状況に応じて様々な支援を行います。また、車椅子でも移動できるよう、スロープ、エレベータ、自動ドアやバリアフリートイレなどの障害者用施設も充実しています。

スロープ



バリアフリー
トイレ(5箇所)

エレベータ
(4基)



留学生への支援

和歌山高専では、たくさんの留学生が学習しており、生活や勉強の面で留学生を支えるチューター(学生)を3年次に配置しています。また、留学生を対象としたイベントや、留学生のための施設も充実しています。

留学生
指導室



外国人留学生
研修旅行

留学生日本語
スピーチコンテスト



学生への健康支援

学生の健康管理・支援のため国際交流会館内の保健室に看護師が常駐しています。また、臨床心理士を委嘱し、週4回校内の「オレンジルーム」にてカウンセリングを行っており、校医のクリニックも校地に隣接しています。

保健室



国際交流
会館入口



オレンジルーム



データ集

教員一覧 30

総合教育科 教員
知能機械工学科 教員
電気情報工学科 教員
生物応用化学科 教員
環境都市工学科 教員

教育課程 31

一般科目教育課程
知能機械工学科 専門科目教育課程
電気情報工学科 専門科目教育課程
生物応用化学科 専門科目教育課程
環境都市工学科 専門科目教育課程
メカトロニクス工学専攻 教育課程
エコシステム工学専攻 教育課程

学生の詳細情報 33

〈本科〉
学生の定員及び現員・入学志願者及び入学者
高校からの編入学志願者及び編入学者
〈専攻科〉
学生の定員及び現員・入学志願者及び入学者

在学生の出身地
外国人留学生・奨学金・授業料免除

進路 35

〈本科進路〉
就職・大学等編入学
2022年度(令和4年度)本科卒業生進路先一覧
〈専攻科進路〉
専攻科修了生進学先一覧・専攻科修了生就職先一覧

外部資金等受入(2022年度) 39

協定等の締結(主なもの) 39

学生・教職員の主な受賞一覧 40

学生
教職員

会計 41

教員一覧 (2023年5月1日現在)

総合教育科 教員

職名	氏名	専門分野
教授	修士 (学術) 桑原 伸弘 KUWABARA Nobuhiro	体育方法学
	博士 (理学) 秋山 聡 AKIYAMA Satoru	原子核理論
	博士 (理学) 青山 欽生 AOYAMA Yoshio	情報処理
	博士 (文学) 赤崎 雄一 AKASAKI Yuichi	歴史学(東南アジア)
	体育 学士 中出 明人 NAKADE Akito	学校心理学
	博士 (理学) 濱田 俊彦 HAMADA Toshihiko	数学(関数方程式)
	文学 修士 森岡 隆 MORIOKA Takashi	アメリカ文学、英語教育
	文学 修士 和田 茂俊 WADA Shiigetoshi	国文学(近現代)
准教授	修士 (学術) 芥河 晋 AKUTAGAWA Susumu	スポーツバイオメカニクス
	博士 (理学) 池田 浩之 IKEDA Hiroyuki	天文学
	博士 (理学) 孝森 洋介 TAKAMORI Yosuke	宇宙物理学
	M.A. (M. Eng.) David MARSH デイビッド マーシュ	英語教育
博士 (人間科学) 原 めぐみ HARA Megumi	国際社会学、移民研究	
講師	修士 (教育学) 川崎 有里紗 KAWASAKI Arisa	人文地理学
	博士 (工学) 西嶋 政樹 NISHIJIMA Masaki	有機光化学、分子不斉
助教	博士 (理学) 青井 顕宏 AOI Takahiro	複素幾何学
	博士 (文学) 梶島 雅弘 KABASHIMA Masahiro	漢文学
	博士 (学術) 志村 幸紀 SHIMURA Yukinori	哲学、倫理学
	博士 (理学) 津野 祐司 TSUNO Yuji	代数学
	文学 修士 平山 規義 HIRAYAMA Noriyoshi	フランス文学、語学
嘱託教授	教育学 修士 宮本 克之 MIYAMOTO Katsuyuki	国語教育学、文学
	文学 修士 吉田 芳弘 YOSHIDA Yoshihiro	ドイツ文学

知能機械工学科 教員

職名	氏名	専門分野
教授	博士 (工学) 津田 尚明 TSUDA Naoaki	ヒューマンインタフェース、ロボット工学
	博士 (工学) 梶原 恵藏 KASHIHARA Keizo	機械材料学、材料強度学
	博士 (工学) 大村 高弘 OHMURA Takahiro	熱工学
	博士 (工学) 山東 篤 SANDO Atsushi	計算力学
准教授	博士 (工学) 徐 嘉榮 XU Jiale	MEMS(微小な電気機械システム)
	博士 (工学) 村山 暢 MURAYAMA Toru	群ロボット、自律分散システム
講師	博士 (工学) 石橋 春香 ISHIBASHI Haruka	計測工学、計測制御
	博士 (工学) 原 圭介 HARA Keisuke	接着工学、材料力学
嘱託教授	博士 (工学) 北澤 雅之 KITAZAWA Masayuki	人間工学、設計工学

電気情報工学科 教員

職名	氏名	専門分野
教授	博士 (工学) 山吹 巧一 YAMABUKI Kaichi	電力システム、雷保護設計
	博士 (工学) 謝 孟春 XIE Mengchun	知能情報処理
	博士 (工学) 岡本 和也 OKAMOTO Kazuya	ロボット工学、電子回路、生産技術
	博士 (工学) 直井 弘之 NAOI Hiroyuki	半導体工学、電子材料
	工学 修士 森 徹 MORI Toru	信号処理
准教授	博士 (情報工学) 岩崎 宣生 IWASAKI Nobuo	信号処理
	博士 (工学) 岡部 弘佑 OKABE Kousuke	ロボット工学、制御工学
講師	博士 (工学) 中嶋 崇喜 NAKASHIMA Mitsuki	半導体工学、電子材料

生物応用化学科 教員

職名	氏名	専門分野
教授	博士 (工学) 綱島 克彦 TSUNASHIMA Katsuhiko	電気化学、有機電気化学、有機機能材料
	博士 (工学) 奥野 祥治 OKUNO Yoshiharu	天然物化学、生物有機化学
	博士 (工学) 岸本 昇 KISHIMOTO Noboru	化学工学、分離工学
	博士 (工学) 楠部 真崇 KUSUBE Masataka	生物物理化学、高圧生理化学
	博士 (薬学) 土井 正光 DOI Masamitsu	ペプチド化学、生物物理
	博士 (工学) 河地 貴利 KAWAJI Takatoshi	有機合成化学、超分子化学
准教授	博士 (理学) SETIAMARGA Davin ステイアマルガ デフィン	生物工学、分子生物学
	博士 (工学) 西本 真琴 NISHIMOTO Makoto	生物物理化学、界面化学
	博士 (工学) 森田 誠一 MORITA Seichi	生体化学工学
	助教	博士 (理学) 舟谷 佑典 FUNASAKO Yusuke

環境都市工学科 教員

職名	氏名	専門分野
教授	博士 (工学) 林 和幸 HAYASHI Kazuyuki	地盤工学
	博士 (工学) 三岩 敬孝 MITSUIWA Yoshitaka	土木材料学、コンクリート工学
	博士 (工学) 小池 信昭 KOIKE Nobuaki	津波工学、海岸工学
	博士 (工学) 辻原 治 TSUJIHARA Osamu	地震工学、構造工学
准教授	博士 (工学) 伊勢 昇 ISE Noboru	土木計画学、交通工学
	博士 (工学) 山田 宰 YAMADA Osamu	耐震工学、構造工学
	博士 (工学) 横田 恭平 YOKOTA Kyohei	環境化学、地球化学
講師	博士 (工学) 竹村 泰幸 TAKEMURA Yasuyuki	環境保全工学、環境微生物学
助教	博士 (工学) 櫻井 祥之 SAKURAI Shono	都市計画、地域計画
	博士 (工学) 平野 廣佑 HIRANO Hirotsuke	海洋建築工学、物質応用化学

教育課程

本科

一般科目教育課程(令和5年度以降入学)

授業科目 必修科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
国語	8	3	3	2		
思考と表現	1			1		
歴史総合	2	2				
日本史探求	1	1				
地理総合	2		2			
世界史探究	1		1			
公共	2			2		
政治・経済	2				2	
数学Ⅰα	3	3				
数学Ⅰβ	3	3				
数学Ⅱα	4		4			
数学Ⅱβ	2		2			
数学Ⅲα	3			3		
数学Ⅲβ	2			2		
物理	5	2	3			
保健・体育	10	3	2	2	2	1
芸術	1	1				
英語	2				2	
英語総合	10	4	4	2		
英語表現	2	2				
英会話	1		1			
英文法	2			2		
知能機械工学科・電気情報工学科・環境都市工学科 必修科目						
化学Ⅰ	3	3				
化学Ⅱ	2		2			
総合理科	1		1			
生物応用化学科 必修科目						
化学Ⅰ	3	3				
化学Ⅱ	2		2			
総合理科	1	1				
必修科目小計						
知能機械工学科						
電気情報工学科	75	27	25	16	6	1
環境都市工学科						
生物応用化学科		28	24			
選択科目						
わかやま学*	1		1			
地域と文化 A	1					1
地域と文化 B	1					1
地域と文化 C	1					1
第2外国語 AI	2				2	
第2外国語 BI	2				2	
第2外国語 CI	2				2	
英語 A	2					2
英語 B	2					2
第2外国語 AⅡ	2					2
第2外国語 BⅡ	2					2
第2外国語 CⅡ	2					2
海外異文化交流(留学)**	1	1	1	1	1	1
選択科目小計	21	1	2	1	7	14
開設単位数						
知能機械工学科						
電気情報工学科	96	28	27	17	13	15
環境都市工学科						
生物応用化学科		29	26			
修得単位数						
知能機械工学科						
電気情報工学科	75以上	27	25	17		注
環境都市工学科						
生物応用化学科		28	24			

* 必ず履修
** 単位取得の上限は1単位
注 一般科目75単位以上、専門科目82単位以上、かつ合計167単位以上修得すること。

特別活動	単位時間数	1年	2年	3年
	90	30	30	30

知能機械工学科 専門科目教育課程(平成31年度以降入学)

授業科目 必修科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
応用数学	4				2	2
応用物理	2			2		
工業外国語	1					1
工業力学	1		1			
振動工学	2					2
材料力学	4			2	2	
材料学	3			1	2	
熱力学	1		1			
工業熱力学	2				2	
水力学	1			1		
流体力学	2				2	
機構学	2		2			
機械設計法	4			2	2	
機械システム工学	2					2
機械工作法	3		2	1		
機械設計製図	8	2	2	2	2	
工作実習	6.5	2	3	1.5		
ロボット創作実習	1.5			1.5		
電子制御Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ	6			2	2	2
自動制御	2				2	
コンピュータ入門	2	2				
情報処理	3		1	2		
メカトロニクス設計	2					2
計測工学	2				2	
機械工学実験	4.5				3	1.5
卒業研究	8.5					8.5
必修科目小計	80	6	10	18	25	21
選択科目						
材料強度学	2					2
流体工学	2					2
生産管理工学	2					2
情報工学	2					2
企業実践講座*	1				1	
学外実習**	1				1	
県内インターンシップ**	2					2
選択科目小計	12	0	0	0	4	8
開設単位数	92	6	10	18	58	
修得単位数	82以上	6	10	18		注

* 必ず履修
** 履修できるのはどちらか一つ

一般科目合計						
開設単位数	96	28	27	18	12	15
修得単位数	75以上	27	25	17		注

総計						
開設単位数	188	34	37	36	85	
修得単位数	167以上	33	35	35	64以上	

注 一般科目75単位以上、専門科目82単位以上、かつ合計167単位以上修得すること。
(専門科目の選択科目のうち2単位は必須。
一般科目または専門科目の選択科目のうち10単位以上(167-(75+82))は自由に選択可能。)

電気情報工学科 専門科目教育課程(令和3年度以降入学)

授業科目 必修科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
応用数学	2				2	
応用物理	2			2		
工業外国語	2				2	
電気回路Ⅰ,Ⅱ	5		3	2		
電気回路Ⅲ	2			2		
電気磁気学Ⅰ	2			2		
計算機入門	2	2				
情報処理Ⅰ,Ⅱ	4	2	2			
情報処理Ⅲ	2		2			
アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	2			2		
アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	2			2		
電子回路Ⅰ,Ⅱ	4			2	2	
計算機アーキテクチャー	2		2			
マイクロコンピュータ	2		2			
情報通信	2				2	
回路網理論	2				2	
電子工学	2				2	
電気材料	2				2	
電子計測	2				2	
電気機器	2			2		
自動制御	2					2
OSとセキュリティ	2				2	
電気情報工学実験	12	2	2	3	3	2
卒業研究	10					10
必修科目小計	73	6	13	19	21	14
選択科目						
システム設計	2				2	
IC応用回路	2					2
電気磁気学Ⅱ	2				2	
電気設計	2					2
パワーエレクトロニクス	2					2
送配電工学	2				2	
発変電工学	2				2	
高電圧工学	2					2
電気法規・電気施設管理	1					1
企業実践講座*	1				1	
学外実習**	1				1	
県内インターンシップ**	2					2
選択科目小計	21	0	0	0	12	9
開設単位数	94	6	13	19	56	
修得単位数	82以上	6	13	19		注

* 必ず履修
** 履修できるのはどちらか一つ

一般科目合計						
開設単位数	96	28	27	18	12	15
修得単位数	75以上	27	25	17		注

総計						
開設単位数	190	34	40	37	83	
修得単位数	167以上	33	38	36	58以上	

注 一般科目75単位以上、専門科目82単位以上、かつ合計167単位以上修得すること。
(専門科目の選択科目のうち9単位は必須。
一般科目または専門科目の選択科目のうち10単位以上(167-(75+82))は自由に選択可能。)

本科

生物応用化学科 専門科目教育課程(平成31年度以降入学)

授業科目 必修科目	単位数	年				
		1年	2年	3年	4年	5年
応用数学	2				2	
応用物理	4			2	2	
情報処理	3	2		1		
生物応用化学入門	2	2				
生物	2		2			
分析化学	3		1	2		
有機化学	4		1	2	1	
無機化学	4			2	2	
物理化学	4			2	2	
生命科学	2			2		
化学工学	5			1	2	2
発酵科学	2				2	
生物化学	2				2	
機器分析	2				2	
高分子化学	2				2	
反応工学	2					2
工学ゼミナール	1					1
生物応用化学実験 I,II,III,IV	17	2	3	4	8	
卒業研究	13					13
応用化学コース必修科目						
材料化学	2				2	
合成化学	2					2
生物化学コース必修科目						
分子生物学	4				2	2
必修科目小計	80	6	7	18	29	20
選択科目						
先端工学概論	2					2
地域イノベーション 工学特論	2					2
計測制御工学	2					2
移動速度論	2					2
食品工学	2					2
天然資源化学	2					2
生物資源科学	2					2
企業実践講座*	1				1	
学外実習**	1					1
県内インターンシップ**	2					2
応用化学コース選択科目						
分子生物学	4				2	2
生物化学コース選択科目						
材料化学	2					2
合成化学	2					2
選択科目小計	22	0	0	0	6	16
開設単位数	102	6	7	18	35	36
修得単位数	82以上	6	7	18		注

* 必ず履修
** 履修できるのはどちらか一つ

一般科目合計

	96	29	26	18	12	15
開設単位数	96	29	26	18	12	15
修得単位数	75以上	28	24	17		注

総計

	198	35	33	36	47	51
開設単位数	198	35	33	36	47	51
修得単位数	167以上	34	31	35	67以上	

注 一般科目75単位数以上、専門科目82単位数以上、かつ合計167単位数以上修得すること。
(専門科目の選択科目のうち2単位は必須。
一般科目または専門科目の選択科目のうち10単位数以上(167-(75+82))は自由に選択可能。)

環境都市工学科 専門科目教育課程(令和4年度以降入学)

授業科目 必修科目	単位数	年				
		1年	2年	3年	4年	5年
応用数学 I,II	4				4	
応用物理	2			2		
環境都市工学通論	1	1				
コンピュータリテラシー	1	1				
防災学概論	1	1				
基礎情報処理演習 I,II	3		1	2		
応用情報処理演習	2				2	
構造力学 I,II,III,IV	7		1	2	2	2
橋梁工学	2				2	
建設材料学	1		1			
コンクリート構造学 I,II	2			2		
土質力学 I,II	3			1	2	
水理学 I,II	4			2	2	
河川工学	2				2	
都市地域計画	1				1	
測量学 I,II,III	3		1	1	1	
環境工学基礎	1		1			
環境工学 I,II	3			1	2	
環境工学 III	2				2	
施工管理学	2				2	
基礎製図 I,II	2	1	1			
設計製図 I,II,III	5			1	2	2
基礎実験 I,II	4			2	2	
測量学実習 I,II	4		2	2		
環境都市工学演習	2				2	
卒業研究	10					10
必修科目小計	74	4	8	18	30	14
選択科目						
振動工学	2					2
社会基盤 メンテナンス工学	2					2
地盤工学	2					2
海岸工学	2					2
計画数値	1				1	
交通システム	1				1	
環境工学IV	1				1	
企業実践講座*	1				1	
学外実習**	1				1	
県内インターンシップ**	2					2
開設単位数	89	4	8	18	59	
修得単位数	82以上	4	8	18		注

* 必ず履修
** 履修できるのはどちらか一つ

一般科目合計

	96	28	27	18	12	15
開設単位数	96	28	27	18	12	15
修得単位数	75以上	27	25	17		注

総計

	185	32	35	36	86
開設単位数	185	32	35	36	86
修得単位数	167以上	31	33	35	68以上

注 一般科目75単位数以上、専門科目82単位数以上、かつ合計167単位数以上修得すること。
(専門科目の選択科目のうち8単位は必須。
一般科目または専門科目の選択科目のうち10単位数以上(167-(75+82))は自由に選択可能。)

専攻科

メカトロニクス工学専攻 教育課程(令和5年度以降入学)

授業科目	単位数	1年		2年		
		前期	後期	前期	後期	
○英語I	2		2			
○英語II	2		2			
現代アジア論	2			2		
ビジネスコミュニケーション	2	2				
テクニカルライティング	2			2		
○技術者倫理	2				2	
一般科目 開設単位数	12	4	2	4	2	
一般科目 修得単位数		6単位以上				
専門共通科目						
数理統計学	2	2				
数理工学	2	2				
線形代数	2	2				
数値計算・解析法	2		2			
現代物理学	2	2				
情報理論	2		2			
センサー工学	2		2			
応用エネルギー工学	2		2			
環境化学工学	2	2				
環境マネジメント	2				2	
専門共通科目 開設単位数	20	10	8	0	2	
専門共通科目 修得単位数		12単位以上				
専門専攻科目						
○工学特別ゼミナール	4		2		2	
○工学特別実験	4	2	2			
○特別研究 I	4	2	2			
○特別研究 II	10			4	6	
計測制御工学	2		2			
パワーエレクトロニクス特論	2		2			
ロボット工学	2			2		
材料科学	2	2				
電気電子工学特論	2			2		
精密加工学	2		2			
伝熱工学	2		2			
熱流体工学	2			2		
信号処理理論	2			2		
応用デジタル回路	2			2		
創造プログラミング	2			2		
インターンシップ	2				2	
専門専攻科目 開設単位数	46	10	12	18	6	
専門専攻科目 修得単位数		36単位以上				
一般・専門科目 開設単位数 合計	78	24	22	22	10	
一般・専門科目 修得単位数		62単位以上				

エコシステム工学専攻 教育課程(令和5年度以降入学)

授業科目	単位数	1年		2年		
		前期	後期	前期	後期	
○英語I	2		2			
○英語II	2		2			
現代アジア論	2			2		
ビジネスコミュニケーション	2	2				
テクニカルライティング	2			2		
○技術者倫理	2				2	
一般科目 開設単位数	12	4	2	4	2	
一般科目 修得単位数		6単位以上				
専門共通科目						
数理統計学	2	2				
数理工学	2	2				
線形代数	2	2				
数値計算・解析法	2		2			
現代物理学	2	2				
情報理論	2		2			
センサー工学	2		2			
応用エネルギー工学	2		2			
環境化学工学	2	2				
環境マネジメント	2				2	
専門共通科目 開設単位数	20	10	8	0	2	
専門共通科目 修得単位数		12単位以上				
専門専攻科目						
○工学特別ゼミナール	4		2		2	
○工学特別実験	4	2	2			
○特別研究 I	4	2	2			
○特別研究 II	10			4	6	
反応有機化学	2		2			
化学反応論	2			2		
有機機能材料	2			2		
遺伝子細胞工学	2	2				
分離工学	2		2			
生体高分子	2			2		
応用材料工学	2	2				
応用地盤工学	2		2			
建設設計工学	2			2		
社会基盤計画学	2			2		
水圏工学	2		2			
地域環境工学	2			2		
複合構造工学	2			2		
インターンシップ	2				2	
専門専攻科目 開設単位数	50	12	12	20	6	
専門専攻科目 修得単位数		36単位以上				
一般・専門科目 開設単位数 合計	82	26	22	24	10	
一般・専門科目 修得単位数		62単位以上				

○印は必修科目

学生の詳細情報

〈本科〉

学生の定員及び現員

2023年5月1日現在

学科	区分	学級数	入学定員	1年	2年	3年	4年	5年	計
知能機械工学科		1	40	41 ⁽⁵⁾	39 ⁽⁵⁾	40 ⁽³⁾ ⁽¹⁾	42 ⁽⁵⁾ ⁽¹⁾	39 ⁽⁵⁾ ⁽¹⁾	201 ⁽²³⁾ ⁽³⁾
電気情報工学科		1	40	41 ⁽⁸⁾	41 ⁽³⁾	46 ⁽⁶⁾ ⁽¹⁾	44 ⁽⁸⁾ ⁽¹⁾	38 ⁽⁴⁾ ⁽¹⁾	210 ⁽²⁹⁾ ⁽³⁾
生物応用化学科		1	40	41 ⁽²⁰⁾	40 ⁽¹⁷⁾	42 ⁽¹⁹⁾ ⁽¹⁾	37 ⁽¹⁷⁾	37 ⁽¹³⁾	197 ⁽⁸⁶⁾ ⁽¹⁾
環境都市工学科		1	40	41 ⁽¹⁴⁾	38 ⁽⁹⁾	43 ⁽¹⁰⁾ ⁽¹⁾	41 ⁽¹⁰⁾ ⁽¹⁾	41 ⁽⁸⁾ ⁽¹⁾	204 ⁽⁵¹⁾ ⁽³⁾
計		4	160	164 ⁽⁴⁷⁾	158 ⁽³⁴⁾	171 ⁽³⁸⁾ ⁽⁴⁾	164 ⁽⁴⁰⁾ ⁽³⁾	155 ⁽³⁰⁾ ⁽³⁾	812 ⁽¹⁸⁹⁾ ⁽¹⁰⁾

()内は女子内数 ()は外国人留学生内数

入学志願者及び入学者

2023年5月1日現在

学科	年度	2019		2020		2021		2022		2023	
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
知能機械工学科		63 ⁽⁸⁾	41 ⁽⁵⁾	54 ⁽⁴⁾	40 ⁽⁴⁾	56 ⁽³⁾	40 ⁽³⁾	64 ⁽⁷⁾	40 ⁽⁶⁾	53 ⁽⁷⁾	40 ⁽⁴⁾
電気情報工学科		65 ⁽¹⁰⁾	40 ⁽⁶⁾	54 ⁽¹⁰⁾	40 ⁽⁷⁾	49 ⁽⁶⁾	42 ⁽⁵⁾	61 ⁽⁷⁾	40 ⁽³⁾	44 ⁽⁸⁾	41 ⁽⁸⁾
生物応用化学科		66 ⁽²⁰⁾	40 ⁽¹⁴⁾	64 ⁽²⁷⁾	41 ⁽¹⁹⁾	56 ⁽²⁴⁾	40 ⁽¹⁸⁾	56 ⁽³⁰⁾	40 ⁽¹⁸⁾	45 ⁽²²⁾	40 ⁽¹⁹⁾
環境都市工学科		69 ⁽¹³⁾	41 ⁽⁹⁾	57 ⁽¹²⁾	41 ⁽¹¹⁾	54 ⁽¹¹⁾	40 ⁽⁹⁾	65 ⁽¹²⁾	40 ⁽⁹⁾	44 ⁽¹⁴⁾	40 ⁽¹⁴⁾
計		263 ⁽⁵¹⁾	162 ⁽³⁴⁾	229 ⁽⁵³⁾	162 ⁽⁴¹⁾	215 ⁽⁴⁴⁾	162 ⁽³⁵⁾	246 ⁽⁵⁶⁾	160 ⁽³⁶⁾	186 ⁽⁵¹⁾	161 ⁽⁴⁵⁾

*試験の結果第二志望の学科に入学した場合は、実際に入学した学科の志願者として集計

()内は女子内数

高校からの編入学志願者及び編入学者

2023年5月1日現在

学科	年度	2019		2020		2021		2022		2023	
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
知能機械工学科		1 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾	3 ⁽¹⁾	1 ⁽¹⁾	1 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾
電気情報工学科		4 ⁽¹⁾	1 ⁽⁰⁾	3 ⁽⁰⁾	2 ⁽⁰⁾	2 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾	2 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾
生物応用化学科		0 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾
環境都市工学科		3 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾	2 ⁽¹⁾	1 ⁽¹⁾	0 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾
計		8 ⁽¹⁾	2 ⁽⁰⁾	6 ⁽¹⁾	3 ⁽¹⁾	5 ⁽¹⁾	3 ⁽¹⁾	4 ⁽⁰⁾	3 ⁽⁰⁾	2 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾

()内は女子内数

〈専攻科〉

学生の定員及び現員

2023年5月1日現在

専攻	区分	学級数	入学定員	1年	2年	計
メカトロニクス工学専攻		1	8	11 ⁽²⁾	13 ⁽¹⁾	24 ⁽³⁾
エコシステム工学専攻		1	8	10 ⁽⁵⁾	16 ⁽⁶⁾	26 ⁽¹¹⁾
計		2	16	21 ⁽⁷⁾	29 ⁽⁷⁾	50 ⁽¹⁴⁾

()内は女子内数

入学志願者及び入学者

2023年5月1日現在

専攻	年度	2023	
		志願者	入学者
メカトロニクス工学専攻		14 ⁽²⁾	11 ⁽²⁾
エコシステム工学専攻		12 ⁽⁵⁾	10 ⁽⁵⁾
計		26 ⁽⁷⁾	21 ⁽⁷⁾

()内は女子内数

在学生の出身地 (出身中学校所在地に基づく集計:2023年度在学者)

和歌山市が27%と最も多く、本校所在地の御坊市を含む日高地域の学生は20%です。続いて、近隣の有田地域(15%)、田辺市を含む西牟婁地域(9%)、岩出市、紀の川市を含む那賀地域(8%)、海南市を含む海草地域(7%)の学生が多く、県外では大阪府(10%)が最も多くなっています。 2023年5月1日現在

出身地	学年	1年	2年	3年	4年	5年	本科計	専攻科1年	専攻科2年	専攻科計	総計
和歌山県		141(43)	139(31)	147(33)	142(35)	133(29)	702(171)	19(7)	26(6)	45(13)	747(184)
地 域	和歌山市	46(12)	55(10)	42(6)	39(5)	35(4)	217(37)	4(2)	5(1)	9(3)	226(40)
	海草	11(5)	4(0)	14(2)	9(3)	13(0)	51(10)	2(2)	3(0)	5(2)	56(12)
	那賀	13(3)	11(3)	14(6)	11(3)	13(2)	62(17)	1(0)	2(0)	3(0)	65(17)
	伊都	3(0)	2(0)	8(1)	4(0)	2(0)	19(1)	0(0)	0(0)	0(0)	19(1)
	有田	21(7)	27(8)	23(7)	33(11)	16(4)	120(37)	3(0)	3(1)	6(1)	126(38)
	日高	36(14)	22(4)	32(8)	35(11)	28(9)	153(46)	6(1)	9(3)	15(4)	168(50)
	西牟婁	11(2)	18(6)	11(3)	10(2)	23(7)	73(20)	2(1)	1(0)	3(1)	76(21)
	東牟婁	0(0)	0(0)	3(0)	1(0)	3(3)	7(3)	1(1)	3(1)	4(2)	11(5)
大阪府		15(2)	16(1)	17(3)	15(2)	14(0)	77(8)	1(0)	3(1)	4(1)	81(9)
他 県		8(2)	3(2)	3(1)	4(2)	5(0)	23(7)	1(0)	0(0)	1(0)	24(7)
計		164(47)	158(34)	167(37)	161(39)	152(29)	802(186)	21(7)	29(7)	50(14)	852(200)

()内は女子内数

外国人留学生

2023年5月1日現在

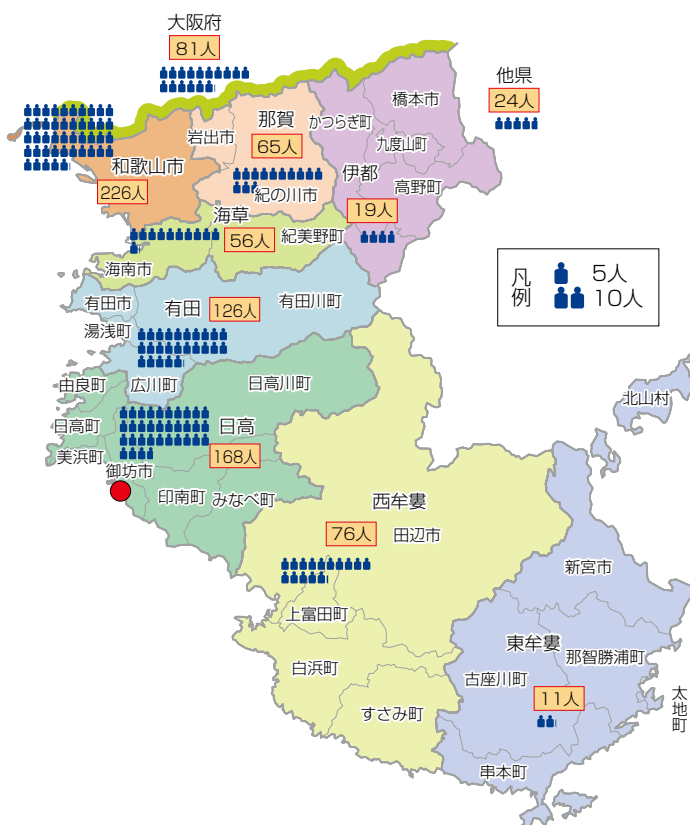
国	学 科	3年	4年	5年	計
マレーシア	知能機械工学科	1	1 ⁽¹⁾	1 ⁽¹⁾	3 ⁽²⁾
〃	電気情報工学科	1			1 ⁽⁰⁾
タイ	電気情報工学科		1		1 ⁽⁰⁾
カンボジア	環境都市工学科	1		1	2 ⁽⁰⁾
モンゴル	電気情報工学科			1	1 ⁽⁰⁾
〃	生物応用化学科	1 ⁽¹⁾			1 ⁽¹⁾
〃	環境都市工学科		1		1 ⁽⁰⁾
計		4 ⁽¹⁾	3 ⁽¹⁾	3 ⁽¹⁾	10 ⁽³⁾

()内は女子内数



留学生ガイダンス

在学生の出身地(分布図)



- 入学金は 84,600円です。授業料は、234,600円ですが、1~3年生には原則として高等学校と同様の「就学支援金制度」の適用があり、所得に応じ年額 0円、115,800円または 234,600円の負担となります。4年生から専攻科生は、「高等教育の修学支援新制度」に申請することが可能であり、所得及び学業成績に応じて授業料の減免及び奨学金の給付を受けることができます。また上記によらず、特別な事由がある場合には、「国立高等専門学校機構による授業料免除」を申請することができます。

奨学金

2022年度実績

学年	区分	日本学生支援機構			和歌山県	奈良県	大阪府	天野	中津基金	その他	計
		第一種	第二種	給付型							
1年		1			0	0	0		0	0	1
2年		9			2	0	1		0	1	13
3年		4			2	0	0		0	2	8
4年		4	0	29	0	0	2		0	10	45
5年		2	1	30	2	0	1	1	1	3	41
専攻科1年		0	0	7	0	0	0		0	3	10
専攻科2年		2	2	6	0	0	0		0	1	11
計		22	3	72	6	0	4	1	1	20	129

授業料免除

2022年度実績

学年	区分	前 期					後 期				
		希望者数	全額免除者数	2/3免除者数	1/3免除者数	免除者数/対象者数(%)	希望者数	全額免除者数	2/3免除者数	1/3免除者数	免除者数/対象者数(%)
4年		32	20	4	3	17.6	31	21	5	1	17.8
5年		33	12	9	9	18.1	31	14	8	4	15.7
専攻科1年		7	2	3	2	23.3	6	3	1	1	17.2
専攻科2年		8	4	1	0	15.2	7	5	1	0	18.2
計		80	38	17	14	18.1	75	43	15	6	16.8

進路

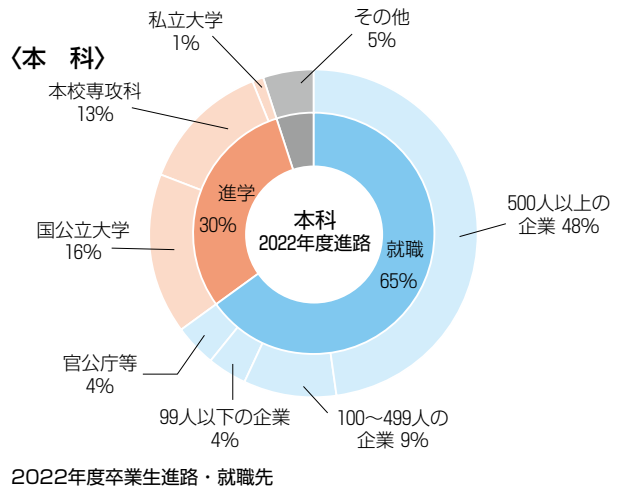
〈本科進路〉

5年間の一貫教育により技術者を育成する本校は、景気に左右されることなく、毎年100パーセントの就職率を保ち、ほぼ全員が希望の大手企業等へ就職しています。また進学を希望する卒業生はそのほとんどが国公立大学への編入学や、本校専攻科へ進学をしています。

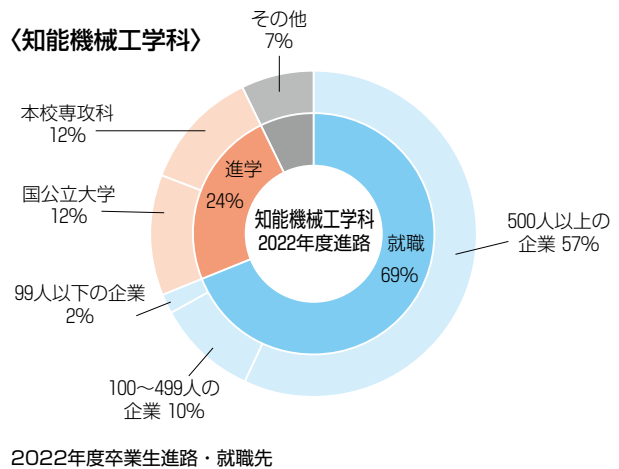
卒業生の進路は、就職65パーセント、国公立大学への進学16パーセント、本校専攻科への進学13パーセント、その他5パーセントでした。

就職

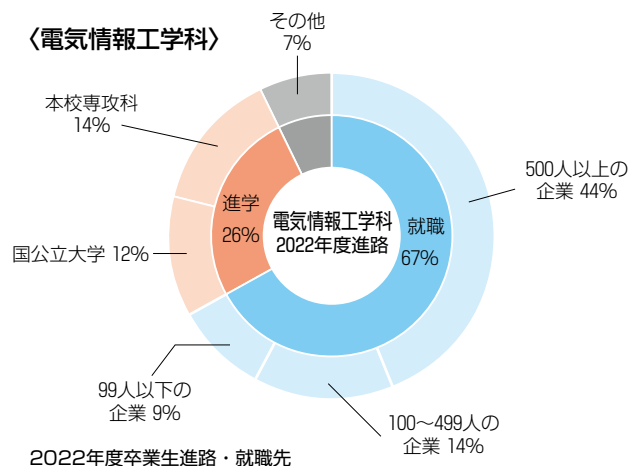
本科		年度	2018	2019	2020	2021	2022
卒業生数			157	152	156	148	162
就職者数			111	96	102	87	105
地域別	京浜地区		42	38	44	30	44
	京阪神地区		46	35	33	31	42
	和歌山県		13	12	17	13	11
	その他		10	11	8	13	8
企業規模	500人以上		82	70	75	56	78
	100人~499人		16	14	13	17	14
	99人以下		4	4	5	6	6
	官公庁等		9	8	9	8	7



知能機械工学科		年度	2018	2019	2020	2021	2022
卒業生数			44	34	35	43	42
就職者数			31	20	20	30	29
地域別	京浜地区		9	9	9	7	12
	京阪神地区		14	7	7	11	12
	和歌山県		1	2	2	2	2
	その他		7	2	2	10	3
企業規模	500人以上		28	18	18	24	24
	100人~499人		2	2	2	5	4
	99人以下						1
	官公庁等		1			1	



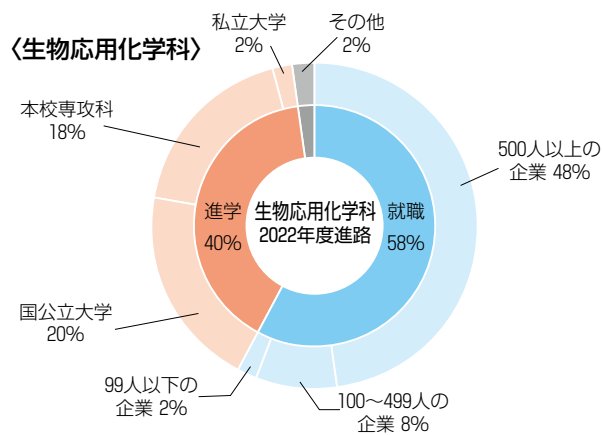
電気情報工学科		年度	2018	2019	2020	2021	2022
卒業生数			37	35	42	36	43
就職者数			28	24	24	16	29
地域別	京浜地区		12	10	9	6	13
	京阪神地区		11	7	10	7	10
	和歌山県		4	4	3	2	3
	その他		1	3	2	1	3
企業規模	500人以上		17	20	17	11	19
	100人~499人		9	3	5	3	6
	99人以下		1	1	2	2	4
	官公庁等		1				



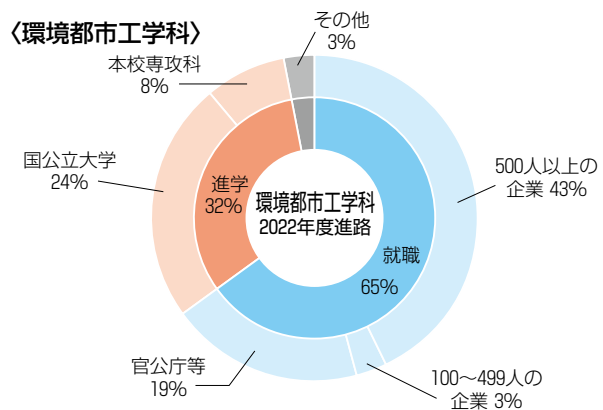
生物応用化学科		年度	2018	2019	2020	2021	2022
卒業生数			38	40	40	33	40
就職者数			23	20	24	17	23
地域別	京浜地区		12	4	9	6	11
	京阪神地区		9	11	6	8	9
	和歌山県		1	2	7	2	1
	その他		1	3	2	1	2
企業規模	500人以上		17	14	17	10	19
	100人～499人		3	4	5	5	3
	99人以下		2	1	2	1	1
	官公庁等		1	1		1	

※2020年度以前は物質工学科

環境都市工学科		年度	2018	2019	2020	2021	2022
卒業生数			38	43	39	36	37
就職者数			29	32	34	24	24
地域別	京浜地区		9	15	17	11	8
	京阪神地区		12	10	10	5	11
	和歌山県		7	4	5	7	5
	その他		1	3	2	1	
企業規模	500人以上		20	18	23	11	16
	100人～499人		2	5	1	4	1
	99人以下		1	2	1	3	
	官公庁等		6	7	9	6	7



2022年度卒業生進路・就職先



2022年度卒業生進路・就職先

大学等編入学

大学等	年度	2020	2021	2022
和歌山高専専攻科		32	30	21
長岡技術科学大学		6	5	6
豊橋技術科学大学		4	3	8
広島大学		2	2	
和歌山大学			2	1
北海道大学			1	1
東京農工大学			2	
金沢大学				2
京都工芸繊維大学			1	1
徳島大学			1	1
九州工業大学		1	1	
九州大学		1		1
弘前大学				1
秋田大学			1	
筑波大学		1		
宇都宮大学		1		
群馬大学		1		
埼玉大学				1
横浜国立大学				1
富山大学			1	
岐阜大学				1
三重大学			1	
大阪大学			1	
神戸大学			1	
島根大学			1	
高知大学				1
佐賀大学			1	
大阪公立大学				1
大阪工業大学				1
計		49	55	49



3年生対象キャリアセミナー



産学勉強会

2022年度(令和4年度)本科卒業生進路先一覧

2023年5月1日現在

就職先	知能機械	電気情報	生物応用化学	環境都市	計	就職先	知能機械	電気情報	生物応用化学	環境都市	計	進学先	知能機械	電気情報	生物応用化学	環境都市	計
[企業]						(株)長尾製缶所		1			1	[進学]					
(株)アイ.エスピー		1			1	西日本高速道路(株)	1			1	2	和歌山高専専攻科	5	6	7	3	21
アイバル真空		1			1	西日本電信電話(株)		1		1	2	北海道大学			1		1
旭化成(株)	1		1		2	西日本旅客鉄道(株)				1	1	弘前大学		1			1
旭化成メディカル(株)	1				1	日東電工(株)			1		1	埼玉大学	1				1
(株)網屋		1			1	パナソニックインダストリー(株)			1		1	横浜国立大学				1	1
出光興産(株)	1				1	パナソニックエナジー(株)	1				1	長岡技術科学大学				1	1
エヌティティインフラネット(株)				2	2	パナソニックエナジー(株)		2			2	金沢大学					2
エヌティティコムウェア(株)		1			1	パナソニックコネクタ(株)		2			2	岐阜大学				1	1
(株)NTTデータMSE		1			1	浜松ホトニクス(株)	1				1	豊橋技術科学大学	2	2	2	2	8
大阪ガス(株)	2				2	阪神高速技術(株)		1			1	京都工芸繊維大学	1				1
大阪油化工業(株)			1		1	阪神高速道路(株)				1	1	和歌山大学				1	1
花王(株)			1		1	不二製油(株)			2		2	徳島大学				1	1
(株)カネカ			1		1	藤本化学製品(株)			1		1	高知大学				1	1
関西エアポートテクノカルサービス(株)	2	1			3	ホソカワミクロン(株)	1				1	九州大学	1				1
関西電力(株)				1	1	三井化学(株)			1		1	大阪公立大学		1			1
紀州ファスナー工業(株)		1			1	三井不動産(株)		1			1	大阪工業大学				1	1
キヤノンアネルバ(株)		1			1	三菱地所プロパティマネジメント(株)	1				1					1	1
キヤノンメディカルシステムズ(株)		1			1	三菱電機システムサービス(株)		1			1						
京セラ(株)	1		1		2	武蔵エンジニアリング(株)			1		1						
麒麟ビール(株)			2		2	(株)明治			1		1						
近畿日本鉄道(株)				1	1	(株)メイテックフィルダース	1				1						
(株)クボタ	1				1	(株)メンバーズ		1			1						
クラシエ製薬(株)			1		1	(株)モビテック		1			1						
小西化学工業(株)			1		1	森永乳業(株)	1				1						
(株)駒井ハルテック				1	1	(株)八雲ソフトウェア		1			1						
(株)小松製作所	1				1	(株)ヤクルト本社	1				1						
五洋建設(株)				1	1	雪印メグミルク(株)			1		1						
サントリースピリッツ(株)			1		1	リコージャパン(株)		1			1						
サントリープロダクツ(株)	1	1			2	(株)Link-U		1			1						
JX金属(株)			1		1	(株)レゾナック			1		1						
ショーボンド建設(株)				1	1	レンゴー(株)	1				1						
スズキ(株)	1				1	ワム・システム・デザイン(株)		1			1						
(株)SUBARU	1				1												
スマートホールディングス(株)		1			1												
住友化学(株)		1			1												
全星薬品工業(株)			1		1												
ソフトバンク(株)		1			1												
大栄環境(株)				1	1												
Daigasエナジー(株)	1				1					2	2						
(株)大気社				1	1					2	2						
ダイキン工業(株)	1				1					1	1						
太洋工業(株)	1				1					1	1						
田岡化学工業(株)			1		1					1	1						
匠技研(株)	1				1					1	1						
東海旅客鉄道(株)				1	1					2	2						
東京電力ホールディングス(株)				1	1												
東レ(株)	1		1		2												
(株)ドコモCS関西		1			1												
凸版印刷(株)	1				1												
						小 計	29	29	23	15	96						
						[官公庁等]											
						国土交通省					2	2					
						和歌山県					2	2					
						紀の川市					1	1					
						海南省					1	1					
						御坊市					1	1					
						(一社)近畿建設協会					2	2					
						小 計	0	0	0	9	9						
						就職計	29	29	23	24	105						
						進学計	10	11	16	12	49						
						[その他]											
						和歌山高専研究生	1	2			3						
						その他	2	1	1	1	5						
						その他計	3	3	1	1	8						
						就職・進学合計	42	43	40	37	162						

〈専攻科進路〉

2022年度の専攻科修了生の進路は企業等への就職が79パーセント、大学院研究科への進学が21パーセントでした。

専攻科修了生進学先一覧

大学院進学先	年度	2020		2021		2022	
		メ	カ	メ	カ	メ	カ
筑波大学大学院			1	1		1	
東京大学大学院					1		
長岡技術科学大学大学院		1			1		
京都工芸繊維大学大学院							1
大阪大学大学院			1				3
奈良先端科学技術大学院大学			2	1	3	1	
和歌山大学大学院		1		1			
九州大学大学院							1
大阪公立大学大学院					1		
岡山県立大学大学院		1					
合計		3	4	3	6	2	5

専攻科修了生就職先一覧

就職先	年度	2020		2021		2022	
		メ	カ	メ	カ	メ	カ
旭化成(株)						1	1
(株)朝日工業社						1	
アマゾンジャパン(同)						1	
大阪ガス(株)						1	
大阪油化工業(株)			1				
(株)奥村組			1				
(株)オブテージ				1			
花王(株)		1				1	
(株)カネカ							1
関西電力(株)						1	
キヤノンメディカルシステムズ(株)				1			
麒麟ビール(株)			1				
(株)ザイマックス関西						1	
沢井製薬(株)							1
三機化工建設(株)					1		
(株)CTIウイング							1
スガイ化学工業(株)						1	1
住友電気工業(株)						1	
星光PMC(株)			1		1		
全星薬品工業(株)					1		
ダイハツ工業(株)				1			
太洋工業(株)		1					
中外製薬工業(株)					1		
TQA(株)				1			
DIC(株)							1
(株)テクモ				1			
東京電力ホールディングス(株)				1			
日東電工(株)					1	1	
(株)日本触媒				1			
パナソニック(株)アプライアンス社		1					
パナソニックインダストリー(株)							1
パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)				1			
阪神高速技術(株)		1					
ファナック(株)						1	
深江化成(株)			1				
(株)富士テクノソリューションズ				1			
マルホ(株)							1
三菱ケミカルエンジニアリング(株)						1	
三菱地所プロパティマネジメント(株)						1	
三菱電機(株)冷熱システム製作所		1					
三菱電機エンジニアリング(株)						1	
(株)メンバーズ				1			
森永乳業(株)		1					
リコージャパン(株)						1	
(株)Link-U		1		1		1	
(株)Relic						1	
国土交通省					1		
和歌山県			1		1		1
東大阪市							1
海南市			1				
美浜町					1		
(一財)雑賀技術研究所			1				
合計		7	8	11	8	16	10

外部資金等受入 (2022年度)

1. 科学研究費補助金

科学研究費補助金(科研費)は、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を段階に発展させることを目的とする国の競争的研究資金で、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

研究種目	件数	総額(単位:円)
基盤研究(B)	1	1,300,000
基盤研究(C)	6	3,510,000
若手研究	4	2,080,000
奨励研究	1	400,000
挑戦的研究(萌芽)	1	2,080,000
計		9,370,000

2. 共同研究

民間企業・公的研究機関などの研究者と本校の教員が、共通のテーマについて対等の立場で行う研究です。民間企業等から研究者と研究経費を受け入れて、基本的に本校を研究の場として行うタイプと共通のテーマについて、本校の教員と民間企業等の研究者が研究を分担し、それぞれの場において研究を進めるタイプがあります。両者のアイデア・意見を交換しながら研究を進めることにより独創的な研究成果が期待できます。

件数	総額(単位:円)
6	6,277,000

3. 受託研究

民間企業・公的研究機関などから委託された課題について委託者の負担する経費を使用して、本校の教員が研究を行い、その成果を委託者に報告します。

件数	総額(単位:円)
3	7,599,000

4. 受託試験

民間企業・公的研究機関などからの依頼に応じて、本校の研究装置を利用して、試験、分析、測定などを行います。委託者からの申請に基づき受け入れを決定し、料金の徴収・試験等を行い、委託者へ試験等の結果を報告します。

件数	総額(単位:円)
0	0

5. 寄附金

学校運営や学科、研究プロジェクト、地域共同テクノセンター等の教育・研究組織または教員個人に対して、教育研究活動支援のために資金・設備などをご提供いただいています。本校の教育研究の充実・発展に重要な役割を果たしています。本校に対する寄附金は、法人税法、所得税法による税制上の優遇措置が受けられます。

件数	総額(単位:円)
35	21,446,950

6. その他競争的外部資金

- ①受託事業 ・紀伊半島の海洋から学ぶSDGs型ジュニアドクター育成プログラム
- ②その他助成金 ・未来の技術者を応援する楽しいモノづくり講座
 ・2022年度エネルギー教育支援事業
 ・力学探求～子供たちの興味と関心を育む公開講座～
 ・PDMSバイアスバネおよび形状記憶合金厚膜を用いた触覚ディスプレイの開発
 ・持続可能かつ発芽強化のためのバイオセメントの改良開発
 ・多軸鍛造したアルミニウム合金の焼きなましにおける微視組織および機械的性質の変化('22)
 ・「リバネスとともに学校の課題を解決する」教員フェロー
 ・下水道整備率が低い地域での震災による管路の被害と津波による水源としての河川水の変化

	件数	総額(単位:円)
①	1	10,000,000
②	8	5,619,570
計		15,619,570

協定等の締結(主なもの)

※締結日付順

産業界	
(公財)わかやま産業振興財団	2016年 11月 10日
(公財)島財団	2019年 10月 15日

行政機関等	
和歌山県教育委員会	2012年 11月 8日
紀の国大学協議会	2016年 3月 15日
美浜町	2016年 6月 21日
和歌山県内9機関及びNHK和歌山	2019年 3月 31日
御坊市	2020年 7月 29日
御坊警察署	2021年 2月 5日
和歌山森林管理署	2021年 3月 12日
印南町	2021年 12月 3日
和歌山県	2022年 12月 22日
有田市教育委員会	2023年 1月 20日

金融機関	
(株)紀陽銀行	2008年 3月 3日

大学研究機関等	
京都大学工学部	2007年 3月 28日
京都大学大学院工学研究科	2007年 3月 28日
和歌山大学システム工学部	2012年 3月 22日
和歌山大学大学院システム工学研究科	2012年 3月 22日
大阪大学基礎工学部・大学院基礎工学研究科	2013年 9月 12日
北陸先端科学技術大学院大学	2014年 12月 10日
早稲田大学大学院情報生産システム研究科	2018年 1月 25日
鳥羽商船高等専門学校	2018年 3月 27日
大阪大学工学部・大学院工学研究科	2019年 4月 25日
神戸大学大学院工学研究科	2019年 7月 17日
インドネシア ポゴール農科大学	2020年 9月 18日
上海電機学院	2021年 3月 22日
インドネシア アトマジャヤ大学	2022年 8月 10日
インドネシア スラバヤ工科大学	2022年 8月 31日

学生・教職員の主な受賞一覧 (2020年度～2022年度)

学生

年度	所属等※ 氏名	主催機関・大会等	受賞内容
2020	1C 備間 瑞季 1C 阿部 志歩	2020年理工系高校生によるプロジェクト	奨励賞受賞
	1C 敷本 渚彩		
	1C 備間 瑞季	テクノ愛2020高校の部	健闘賞受賞
	4C 園部 琢巳 5C 中嶋 夢生	テクノ愛2020大学の部	奨励賞受賞
	1C 敷本 渚彩 2C 川村 好永	サイエンスキャッスル研究費	在り原製作所賞
	5C 中嶋 夢生	第50回リバネス研究費	incu・be (インキュビー) 賞
	男子バレーボール部 団体	2020「和歌山おもしろ科学大賞」投稿動画コンテスト	金賞受賞
	2M 永廣 拓也 5A 大江 悠登		
	5A 末永 竜太郎 5A 谷津 眞	令和2年度社会実装教育フォーラム	社会実験賞受賞
	5A 山際 慎太郎		
2021	5C 和田 一真	第23回化学工学会学生大会	優秀賞受賞
	2E 西萩 一喜	令和3年度国土交通省近畿地方整備局研究発表会	優秀賞受賞
	1M 坂口 文哉 1M 山本 泰雅	IVRC2021部門オンラインポスター発表会	企業賞受賞
	1M 中村 蒼紫	2021年度情報処理学会関西支部 支部大会	ジュニア会員特別賞受賞
	3C 岩崎 なつね 3D 山崎 あかり	第56回全国高専体育大会ソフトテニス競技女子ダブルス	準優勝
	3C 川畑 慶悟	サイエンスキャッスル研究費	アサヒ飲料賞受賞
	2A 井口 陽登	第56回全国高専体育大会柔道競技男子体重別個人戦	第3位
	2C 小敷 奏大	第56回全国高専体育大会柔道競技男子体重別個人戦	第3位
	1C 森 聖愛	第56回全国高専体育大会柔道競技女子体重別個人戦	優勝
	4A 新野 理子	第15回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストシングル部門	準優勝
	2M 平野 有基	令和2年度第3ブロック専攻科生研究フォーラム	優秀賞受賞
	2E 宮下 幸奈	令和2年度第3ブロック専攻科生研究フォーラム	優秀賞受賞
	男子バレーボール部 団体	2021「和歌山おもしろ科学大賞」投稿動画コンテスト	金賞受賞
	2E 西萩 一喜	第4回高専防災コンテスト	最優秀賞受賞
	2E 楠本 恵理	令和3年度第3ブロック専攻科生研究フォーラム	優秀賞受賞
	2E 夏見 弥術	令和3年度第3ブロック専攻科生研究フォーラム	優秀賞受賞
	2E 橋爪 千佳	令和3年度第3ブロック専攻科生研究フォーラム	優秀賞受賞
	2E 池田 遼	第24回化学工学会学生大会	優秀賞受賞
2022	2M 大川 竜生	2021年度和歌山大学システム工学部合同卒業研究発表会	優秀賞受賞
	4B 箕西 善大 3A 石井 博章		
	3A 大西 洋輝 2A 小柳 志音	アイデア対決・全国高等専門学校	
	2A 下津 大地 2A 脇 悠斗	ロボットコンテスト2022 全国大会	ベスト4、技術賞受賞
	1A 北原 優織 1A 内藤 心都		
	5D 伊賀 暖人 5D 冷水 孝太郎		
	5D 朱家 佑弥 5D 杉崎 凌哉	第21回コンクリートカヌー競技大会	【アイデアの部・制作の部・総合の部】第3位
	4B TUMURKHUVAG TSELMULUN 4C 坂口 翔太郎		
	4C 宮本 祐輔 3A 井口 陽登		
	3A 延明 知哉 3C 小敷 奏大	第57回全国高専体育大会柔道競技団体戦	第3位
	3C 菖蒲興 夏輝		
	1D 上野 日葵	第57回全国高専体育大会柔道競技女子体重別個人戦	第3位
	2C 森 聖愛	第57回全国高専体育大会柔道競技女子体重別個人戦	優勝
	3A 井口 陽登	第57回全国高専体育大会柔道競技男子体重別個人戦	第3位
	3C 小敷 奏大	第57回全国高専体育大会柔道競技男子体重別個人戦	第3位
	4D 河邊 咲葵	第57回全国高専体育大会柔道競技女子体重別個人戦	第2位
	2D 江川 才翔 2D 河村 佳紀	WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON2022	優勝
	2C 楠本 光輝	SDGsの達成に貢献するバイオエコノミーとバイオテクノロジー動画コンテスト2022	優秀賞受賞
	5B 片山 萌奈	2022年度情報処理学会関西支部大会	ジュニア会員特別賞受賞
	1M 小川 剛史	2022年度情報処理学会関西支部大会	ジュニア会員特別賞受賞
2M 山本 泰雅	2022年度情報処理学会関西支部大会	支部大会奨励賞受賞	
2E 東 さくら	2022年電気化学秋季大会	奨励賞受賞	
2M 日浅 登貴	Journal of Robotics and Mechatronics誌	査読論文が第一著者として掲載	
1A 矢田 勝聖	第77回国民体育大会近畿ブロック大会ライフル射撃競技	第3位	
4B 山田 歩佑	第16回全国高専英語プレゼンテーションコンテストシングル部門	第3位	
4A 瀧川 悠羽 4A 津村 百香			
4B 岸 華音	第16回全国高専英語プレゼンテーションコンテストチーム部門	日本能率協会会長賞受賞	
5B 岡本 凜太郎	(一財)電気学会高電圧研究会	若手奨励賞受賞	
2M 坂口 文哉	第3ブロック専攻科研究フォーラム	優秀賞受賞	
2E 栗原 怜央	第3ブロック専攻科研究フォーラム	優秀賞受賞	
2E 藤岡 美紅	和歌山大学システム工学部合同卒業研究発表会	優秀発表賞受賞	
5D 田中 勇摩 5D 山添 成毅	令和4年度第1回高専防災減災コンテスト	文部科学大臣賞(最優秀賞)受賞	

※A:知能機械工学科、B:電気情報工学科、C:生物応用化学科、D:環境都市工学科、M:メカトロニクス工学専攻、E:エコシステム工学専攻を表す。

*本一覧は、和歌山工業高等専門学校学生表彰に関する規則に基づき表彰された者の中から抜粋して掲載。

教職員

年度	所属等※ 氏名	主催機関・大会等	受賞内容
2020	D 教授 霧巻 峰夫	(公社)土木学会環境システム委員会	環境システム優秀論文賞
2021	A 教授 櫻原 恵藏	(一社)軽金属学会	70周年記念学術功績賞
	A 助教 石橋 春香	(公社)計測自動制御学会	計測部門論文賞
	A 助教 徐 嘉榮	(一社)電気学会	東北支部長賞(優秀論文賞)
	C 助教 舟浴 佑典	イオン液体研究会	口頭講演賞(Green Chemistry賞)
2022	G 准教授 原 めぐみ	令和4年度国立高等専門学校教員顕彰	優秀賞(若手部門)受賞
	D 教授 三岩 敬孝	令和4年度国立高等専門学校教員顕彰	優秀賞(一般部門)受賞

※G:総合教育科、A:知能機械工学科、B:電気情報工学科、C:生物応用化学科、D:環境都市工学科を表す。

会 計

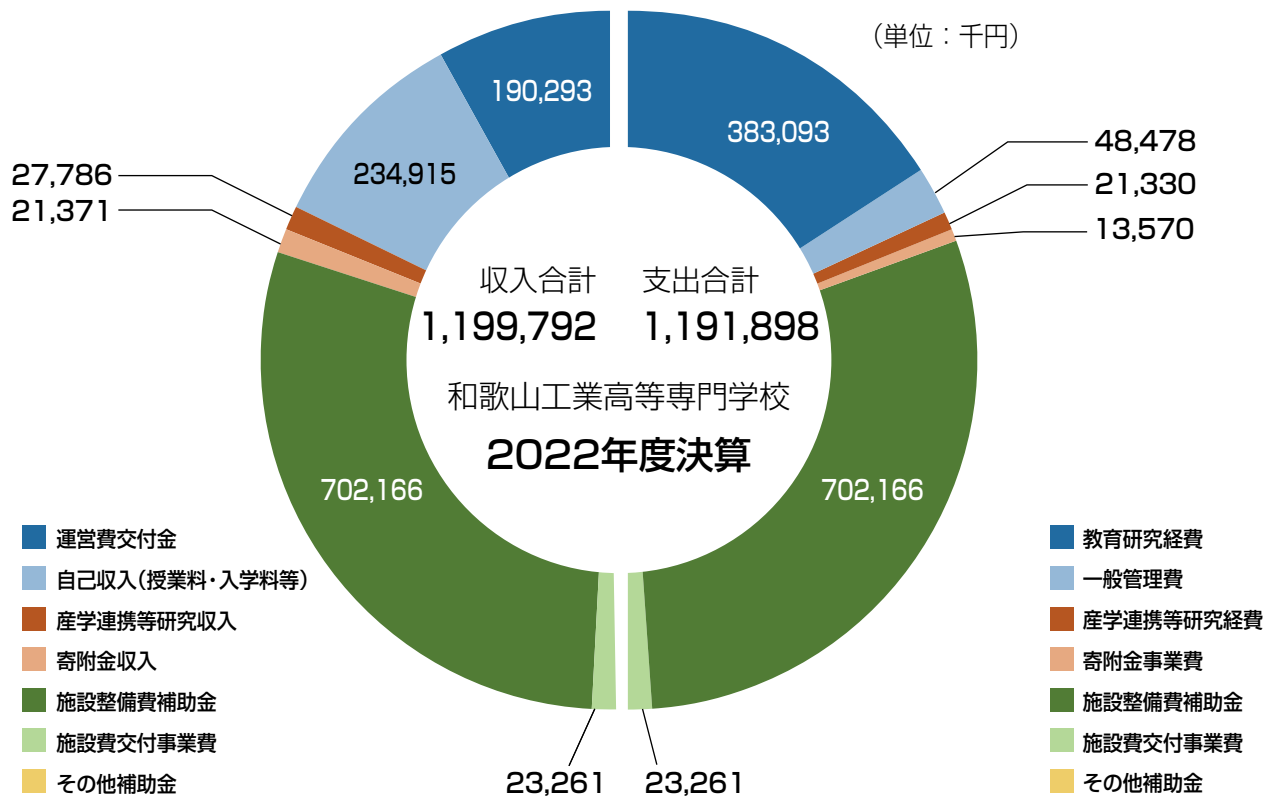
2022年度決算

(単位：千円)

収 入	金 額	%	支 出	金 額	%
運営費交付金	190,293	15.9	教育研究経費	383,093	32.1
自己収入 (授業料・入学金等)	234,915	19.6	一般管理費	48,478	4.1
産学連携等研究収入	27,786	2.3	産学連携等研究経費	21,330	1.8
寄附金収入	21,371	1.8	寄附金事業費	13,570	1.1
施設整備費補助金	702,166	58.5	施設整備費補助金	702,166	58.9
施設費交付事業費	0	0.0	施設費交付事業費	0	0.0
その他補助金	23,261	1.9	その他補助金	23,261	2.0
計	1,199,792	100.0	計	1,191,898	100.0

* 収入および支出の計の差は、産学連携等研究収入および寄附金収入が2022年度の受入金額であり、対する支出は前年度からの繰越額を含めた財源からの支出および翌年度への繰越額等が存在するためである。

** 常勤の教職員の人件費は、独立行政法人国立高等専門学校機構本部事務局にて、支出・計上している。



たゆまぬ挑戦，飛躍の高専！

2022(令和4)年、高専(高等専門学校)制度は、創設から60周年を迎えました。

そして、和歌山高専は2024(令和6)年に創立60周年を迎えます。

今後もみなさまのご理解とご協力をいただきながら、挑戦を重ね、一層の飛躍を目指したいと存じます。

どうぞよろしくお願いたします。



(高専制度60周年ロゴマーク)

記事についてのご意見・ご感想をお寄せください。
右の二次元コードからもメールアドレスを読み込めます。



独立行政法人国立高等専門学校機構

和歌山工業高等専門学校

〒644-0023 和歌山県御坊市名田町野島77

代表電話番号 0738-29-2301

FAX 0738-29-8216

Eメール info@wakayama-nct.ac.jp

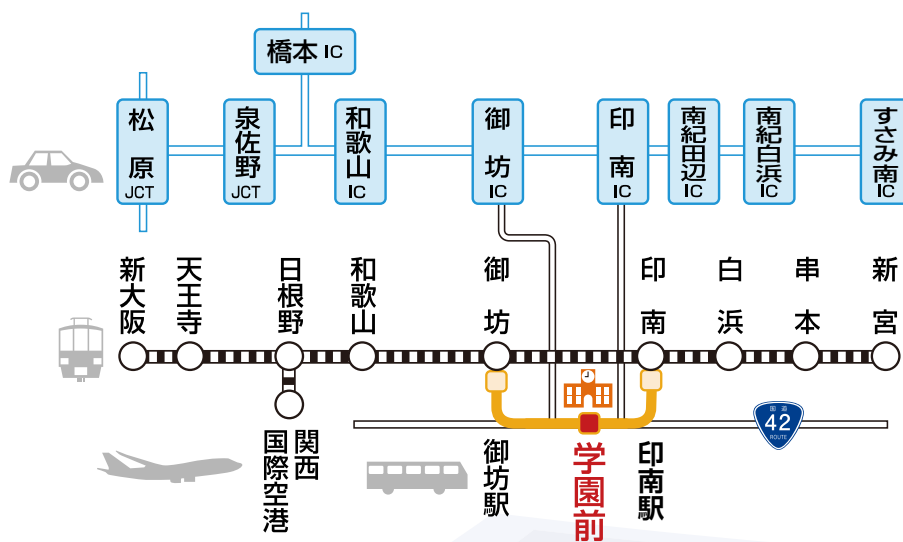
<https://www.wakayama-nct.ac.jp/>

2023年6月発行

DESIGNED by I.D.S inc.

PRINTED by WAKAYAMA PRINTING.co.ltd.

ACCESS



- ◎御坊駅から、熊野御坊南海バスの印南駅行きに乗車、約20分で学園前バス停下車。
- ◎印南駅から、熊野御坊南海バスの御坊駅行きに乗車、約10分で学園前バス停下車。

和歌山工業高等専門学校を支援する企業（教育研究支援基金）

（50音順、令和4年4月～令和5年6月現在）

紀州ファスナー工業（株）
 （株）第一テック
 （株）初山

南海化学（株）
 （株）日本化学工業所



独立行政法人国立高等専門学校機構

和歌山工業高等専門学校

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), WAKAYAMA COLLEGE

<https://www.wakayama-nct.ac.jp/>

